

#### 鶴岡工業高等専門学校へのアクセス

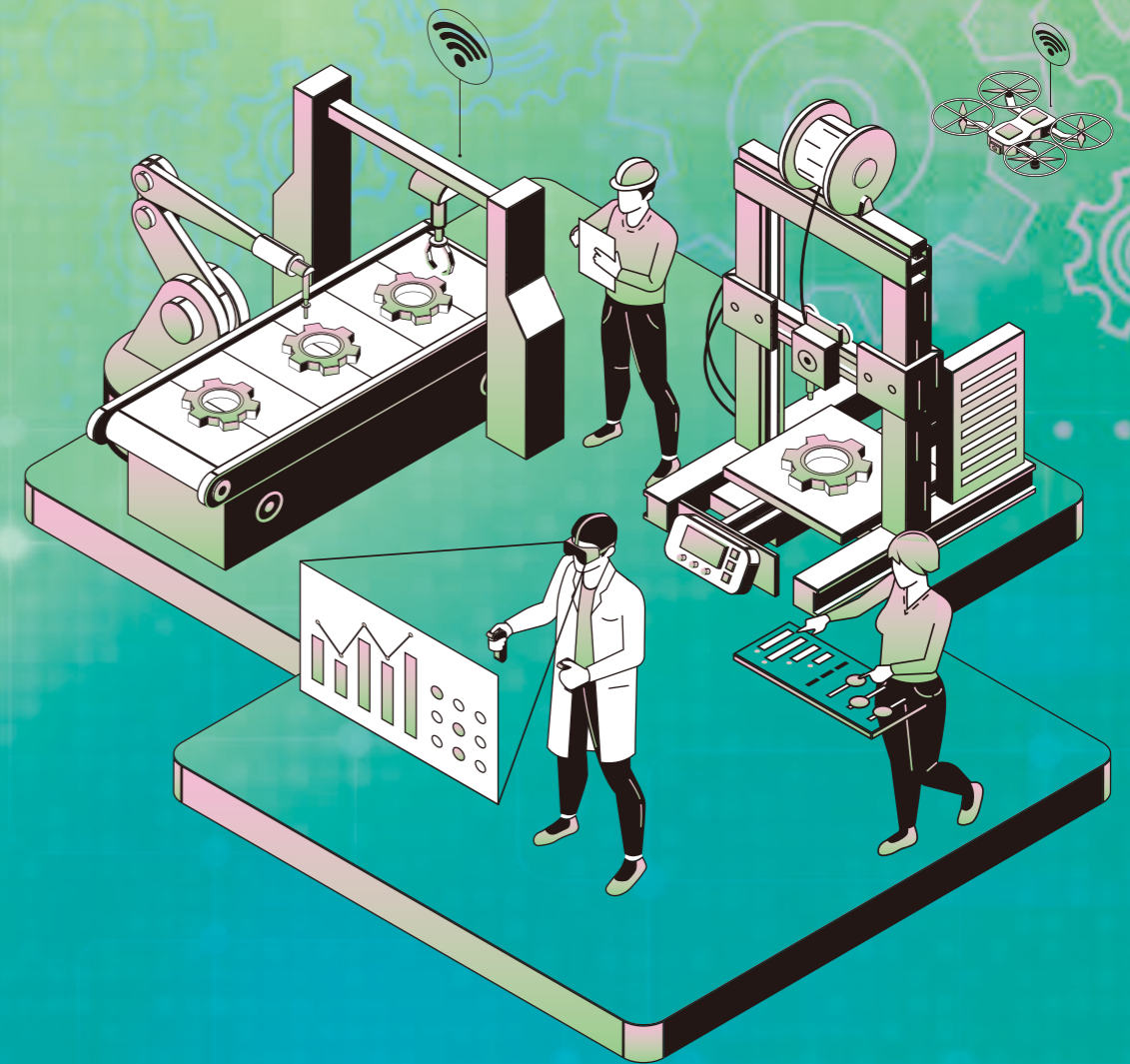
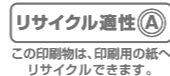
- ◎JR 羽越本線鶴岡駅下車 約 5.5 km
- ①JR 鶴岡駅から庄内交通バス湯田川温泉行で 20 分  
国立高専前下車
- ②JR 鶴岡駅から車で約 15 分
- ◎庄内空港から車で約 30 分
- ◎庄内空港から庄内交通空港連絡バス鶴岡市内行で 30 分  
JR 鶴岡駅前乗換 湯田川温泉行で 20 分  
国立高専前下車



独立行政法人国立高等専門学校機構  
鶴岡工業高等専門学校

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104  
●総務課 TEL(0235)25-9014 FAX(0235)24-1840  
●学生課 TEL(0235)25-9025 FAX(0235)25-8195

URL <https://www.tsuruoka-nct.ac.jp> E-mail [s-soumu@tsuruoka-nct.ac.jp](mailto:s-soumu@tsuruoka-nct.ac.jp)



## 学校総覧

College Catalogue 2026

独立行政法人国立高等専門学校機構  
鶴岡工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN),  
TSURUOKA COLLEGE



# 1. ごあいさつ

Message from President of NIT(KOSEN), Tsuruoka College



校長 President  
長谷川 章 HASEGAWA, Akira

鶴岡工業高等専門学校は、昭和38年の創立以来、国立高等専門学校として実践的で創造性豊かな技術者の育成に取り組んでまいりました。これまで本科および専攻科を通じて数多くの卒業生・修了生を社会へ送り出し、国内外の産業界をはじめとする各方面で活躍するとともに、高い評価をいただいております。

近年、急速なDX化の進展により、社会や産業の在り方は大きく変化しています。このような時代においては、専門分野の知識にとどまらず、分野を横断して複雑な課題を柔軟に解決できる高度人材の育成が不可欠です。本校では令和7年度に高度情報専門人材の育成を主眼とした改組を行い、AI・DX時代に対応した教育体制の強化を図っております。分野横断的な視野と確かな専門力を兼ね備えた、未来を切り開く先端技術者の育成を目指しています。

本校では、「理魂工才・自学自習」の校訓のもと、学生一人ひとりが主体的に学び、考え、挑戦する姿勢を重んじた教育を行っております。学びの場は校内にとどまらず、インターンシップや課題解決型学習、アントレプレナーシップ教育など、実社会と結びついた実践的な学修を重視しています。さらに、海外留学や海外インターンシップなど国際的な学修の機会も積極的に提供しており、在学中におよそ2割の学生が海外留学を経験しています。

今後も自由な校風の下、学生の可能性を最大限に引き出し、社会に貢献する有為な人材を育成するため、教職員一同、力を尽くしてまいります。鶴岡工業高等専門学校への変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

# 2. 創設・発展

Establishment and Development

昭和30年代後半から、我が国は経済を急速に発展させ、今日の豊かな国民生活を支えてきました。その原動力は産業、とくに製造工業であったことから、工業界は実践力に富む中堅技術者を大量に必要としました。この社会的要請に応えて、本校は昭和38（1963）年の春に開校しました。

その後の技術革新やハイテク化、そして今日の科学技術立国に至る激動の中で、本校は科学技術者あるいは科学研究者を養成する特徴ある高等教育機関として、工業界において高く評価され信頼を得ています。その特徴は、5年制一貫教育と大学編入学への広い門戸にあります。平成15（2003）年には大学学部と同等の教育研究機能をもつ2年制の専攻科が設置され、学士学位の取得が可能となり、大学大学院への直接進学もできることになりました。そして、平成16（2004）年、独立行政法人化に伴い、地域密着型高専として新しい出発をしました。

# 3. 沿革

History



昭和37年	8月3日	国立鶴岡工業高等専門学校誘致期成同盟会発足	平成17年	4月1日	電気工学科を電気電子工学科に名称変更
昭和38年	1月10日	国立工業高等専門学校の鶴岡市設置が正式決定	平成18年	4月1日	第8代校長に工学博士・横山正明（東京工業大学名誉教授）が就任
	4月1日	国立学校設置法の一部を改正する法律により、鶴岡工業高等専門学校（入学定員：機械工学科2学級80名、電気工学科1学級40名）設置；初代校長に理学博士・林茂助（東京工業大学名誉教授）が就任；元鶴岡市立第二中学校校舎を仮校舎とし開校		5月8日	「生産システム工学」教育プログラムが日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受ける。
	4月20日	開校式並びに第1回入学式を仮校舎において挙行	平成21年	1月1日	教育研究技術支援センター設置
昭和39年	3月30日	本校舎及び学寮竣工		9月15日	国際交流支援室設置
	5月8日	仮校舎より本校舎（鶴岡市大字井岡字沢田104）に移転	平成23年	4月1日	第9代校長に工学博士・加藤靖（前仙台高専副校長）が就任
昭和42年	4月1日	工業化学科（入学定員：1学級40名）増設	平成24年	1月31日	北陸先端科学技術大学院大学との推薦入学に関する協定締結
	9月14日	校舎落成記念式典を挙行		4月1日	図書メディアセンター設置（図書館改組）
昭和43年	3月20日	第1回卒業証書授与式を挙行	平成25年	10月25～26日	創立50周年記念行事実施
	4月1日	卒業生110名（機械工学科70名、電気工学科40名）	平成26年	4月1日	地域連携センター設置（地域共同テクノセンター改組）
	4月1日	第1学年、第2学年全寮制実施			保健センター設置（学生支援センター改組）
昭和46年	4月1日	第2代校長に斎藤信義（前本校教授・学生主事）が就任	平成27年	3月1日	長岡技術科学大学他22大学・高等専門学校とeラーニング高等教育連携に係る遠隔教育による単位互換に関する協定締結
昭和48年	10月26～28日	創立10周年記念行事実施		4月1日	機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科及び物質工学科を創造工学科（機械コース、電気・電子コース、情報コース、化学・生物コース）に改組（入学定員160名）
昭和51年	10月1日	第3代校長に工学博士・渡会正三（前名古屋大学工学部教授）が就任		12月25日	山形大学他4大学、山形県他13自治体と地（知）の拠点大学による地方創生事業の共同実施に関する協定締結
昭和57年	4月1日	第4代校長に工学博士・染野檀（東京工業大学名誉教授・前長岡技術科学大学教授）が就任	平成28年	4月1日	第10代校長に工学博士・高橋幸司（前山形大学工学部教授）が就任
昭和58年	10月15～16日	創立20周年記念行事実施			総合メディアセンター設置（図書メディアセンター、総合情報センター改組）
昭和61年	4月2日	第5代校長に工学博士・清水二郎（元東京工業大学工学部長・同名誉教授）が就任		12月6日	情報セキュリティ大学院大学と包括連携に関する協定締結
平成2年	4月1日	機械工学科の2学級のうち1学級を制御情報工学科（入学定員：1学級40名）に改組	平成30年	9月20日	酒田南高等学校との学術交流及び地域貢献に関する協定を締結
平成3年	4月1日	留学生の受入開始	令和3年	3月25日	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施する令和2年度「高等専門学校機関別認証評価」において、評価基準を満たしていると認定される。
平成4年	4月1日	新制服（コシノジュンコ氏デザイン）新入生から着用；学校週5日制の実施		4月1日	第11代校長に森政之（前文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課長）が就任
平成5年	4月1日	第6代校長に工学博士・阿部光雄（東京工業大学名誉教授）が就任；工業化学科を物質工学科（物質・生物コース）に改組	令和5年	4月1日	第12代校長に工学博士・太田道也（前群馬工業高等専門学校物質工学科長）が就任
	10月22～24日	創立30周年記念行事実施		10月27日	創立60周年記念行事実施
平成6年	11月11日	地域協力教育研究センター設置	令和6年	4月1日	情報メディアセンター設置（総合メディアセンター改組）
平成12年	4月1日	第7代校長に工学博士・野中勉（元東京工業大学大学院総合理工学研究科長・同名誉教授）が就任	令和7年	4月1日	デジタルデザインコース設置
	11月1日	地域共同テクノセンター設置（地域協力教育研究センター改組）	令和8年	4月1日	第13代校長に工学博士・長谷川章（前福井工業高等専門学校校長）が就任
平成13年	4月1日	総合情報センター設置（電子計算機室改組）			
平成14年	7月	運営協議会設置			
平成15年	4月1日	専攻科（機械電気システム工学専攻・物質工学専攻）設置；保健管理センター設置；女子寮設置；新制服新入生から着用			
	10月24～25日	創立40周年記念行事実施			
平成16年	4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する国立高等専門学校となる。			

## 4. 教育目標と三つの方針 Educational Goal and Three Policies

### 基本教育目標

1. 豊かな人間性と広い視野を持ち、社会人としての倫理を身につける
2. あらゆる学習を通じて思考力を鍛え、創造性に富んだ技術者になる
3. 専門分野の基礎を良く理解し、実際の問題に応用できる能力を培う
4. 意思伝達及び相互理解のため、十分なコミュニケーション力を養う

### 本 科

#### 卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー） ※要約版

養成する人材像：多様な価値観と広い視野を持ち、人間性と創造性に富み、基礎工学及び専門知識・技術を有機的に統合したものづくりやシステムづくりに強い実践的技術者

- 1 創造工学科のディプロマ・ポリシー
  - (A) 知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力
  - (B) 専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を活用できる能力
  - (C) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションができる能力
  - (D) 専門分野の知識と情報技術を身につけ、ものづくりに幅広く対応できる実践力
  - (E) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理に基づき行動する姿勢

#### 2 コースのディプロマ・ポリシー

**機械コース** 機械工学等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、機械、メカトロニクス、材料工学等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。

**電気・電子コース** 電気・電子工学等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー技術等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。

**情報コース** 情報工学、システム制御等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。

**化学・生物コース** 化学、生物学等に関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、物質・材料、生物学等の視点に立って技術的課題を解決する構想力と実践的能力を備える。

**デジタルデザインコース** デジタル・リベラルアーツを主軸とした工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかに関する体系的な知識と基盤技術を身につけ、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物学のいずれかの視点に立って、データサイエンス、AIなどを用いて技術的課題を解決するデザイン能力と実践的能力を備える。

※本校HPに全体版が掲載されています。

#### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） ※要約版

##### 1 創造工学科のカリキュラム・ポリシー

- (A) 知識を統合し多面的に問題を解決できる構想力を身につけるため、グループワークを取り入れた科目や卒業研究などを編成しています。
- (B) 専門分野の基礎としての数学など自然科学の知識を身につけるため、数学、物理、化学、生物に関する科目を編成しています。
- (C) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーション能力を身につけるため、国語、英語、第二外国語に関する科目を編成しています。
- (D) 専門分野の知識と情報技術、ものづくりに幅広く対応できる能力を身につけるため、専門基礎、情報処理、実験・実習などの科目を編成しています。
- (E) 幅広い教養と技術者・研究者としての倫理を身につけるため、人文社会に関する科目を編成しています。

##### 2 専門コースのカリキュラム・ポリシー

**機械コース** では、機械工学分野の専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

**電気・電子コース** では、電気電子分野の専門知識と技術を身につけるため、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギーに関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

**情報コース** では、情報工学分野の専門知識と技術を身につけるため、ハードウェア、ソフトウェア、情報

通信技術に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

**化学・生物コース** では、化学・生物分野の専門知識と技術を身につけるため、物質・材料、生物学に関する授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

**デジタルデザインコース** では、デジタル・リベラルアーツを主軸とし、工学技術（機械、電気電子、情報）、化学・生物学のいずれかの専門知識と技術を身につけるため、機械、メカトロニクス、材料工学、エレクトロニクス、情報・通信、電気エネルギー、ハードウェア、ソフトウェア、情報通信技術、制御工学、物質・材料、生物学のいずれかに関連したデータサイエンス、AIなどを活用した授業、演習、実験・実習、卒業研究などを体系的に開講します。

全ての科目はシラバスに明示した学修到達目標を達成するために、試験、小テスト、レポート等を用いて総合的に評価しています。従って、各科目の合格により、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を身につけたと見なされます。

※本校HPに全体版が掲載されています。

#### 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

- ◇技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者、研究者への夢を抱いている人
- ◇学習意欲が高く、数学、理科、国語、社会、英語の基礎力が備わっている人
- ◇何事にも粘り強さと責任感を持って積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- ◇「ものづくり」に対する専門的知識を身につけて、将来、課題解決のために活躍するリーダーとなることを志す人

### 専 攻 科

#### 修了認定の方針（ディプロマ・ポリシー） ※一部抜粋

養成する人材像：多様な価値観と世界的視野を持ち、高度化・多様化する先端技術に対応できる実践的かつ創造力豊かな開発型技術者

- (A) 多様な価値観を理解できる協働性を持ち、世界的視野で物事を考えることができる能力
- (B) 社会や自然に関わる科学的知識、融合複合分野に関する基礎的知識及び専門分野における基盤知識を活用できる能力
- (C) 科学技術分野における諸課題について、主体的に計画して取り組み、知識を統合・発展させて解決できる能力
- (D) 論理的な思考力、記述力、成果発表と議論の能力及び国際的コミュニケーション能力

※本校HPに全体版が掲載されています。

#### 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー） ※一部抜粋

ディプロマ・ポリシーに示された能力を身につけることにより、社会情勢の変化にも対応して活躍できる技術者や研究者を育成します。また、専門科目だけでなく広い分野にわたる知識や技術も習得できるよう、以下のようなカリキュラム方針に基づいて編成されています。

- (1) 広い視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力を育成するため、各コース共通として「日本学特論」、「技術者倫理」、「哲学的人間論」、「環境社会学」などの一般科目を編成しています。
- (2) 自ら考え計画し、能力を総合的に発揮して問題を解決できる能力を育成するため、「創造工学実習」、「実践的デザイン工学実習」、「専攻科研究Ⅰ」、「専攻科研究Ⅱ」を編成しています。
- (3) 専門分野に加えて基礎工学をしっかり身につけた生産技術に関する幅広い対応力を育成するため、「応用代数」、「物理学特論」、「データ解析」、「専攻科実験」、「インターンシップ」等を編成しています。
- (4) 英語力を含めたコミュニケーション力を育成するため、「総合実践英語Ⅰ」、「総合実践英語Ⅱ」を編成しています。英語による論理的な記述、討論などの能力を涵養します。

評 価 (点数等)	基 準
優 (80点以上)	研究や実践的問題の解決に際して、講義で学修した内容を応用することができる。
良 (70点以上)	講義で用いる教科書レベルの演習問題を解くことができる。
可 (60点以上)	講義内容に関する基本的な原理、法則、方程式、学説等を理解している。
不 可	学術における当該講義の位置づけを理解していない。

※本校HPに全体版が掲載されています。

#### 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

- (1) 科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
- (2) 発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
- (3) 技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人



## 6. 本 科 Faculty

### 創造工学科 Department of Creative Engineering

本校では、地域からの要請により、産業構造の高度化に対応できる融合複合技術者・グローバルエンジニア・イノベーション人材の育成をめざし、平成27年4月1日に創造工学科を設置しました。

創造工学科は、工学の融合複合分野の知識・技術を習得し、エンジニアリングデザイン能力、コミュニケーション能力およびアントレプレナーシップ（起業家精神）を兼ね備えた、グローバルに活躍できる主体的で創造性豊かな実践的技術者の養成を目指しています。

創造工学科においては、「ものづくり」や工学に興味のある学生を広く受け入れ、1年次において工学の基礎を教育します。2年次には機械コース、電気・電子コース、情報コース、化学・生物コースの4つの基礎コースに本人の志向や適性とマッチングを図りながら所属コースを決定し、技術者の素養を育成します。4年次・5年次には、コースを横断して設置される7つの応用分野から1分野を選択し、問題発見及び解決能力の実践力を養成します。

令和7年度から、機械、電気・電子、情報、化学・生物コースの各分野の専門性とデジタルデザイン技術を見極めた人材育成を目指す新しいコース「デジタルデザイン（DD）コース」を新設し、また、最新のAI・DXの発展に対応した数理データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）の教育プログラムを全面的に展開しています。この教育プログラムにより、時代のニーズに合わせた産業界が求める人材を育成していきます。

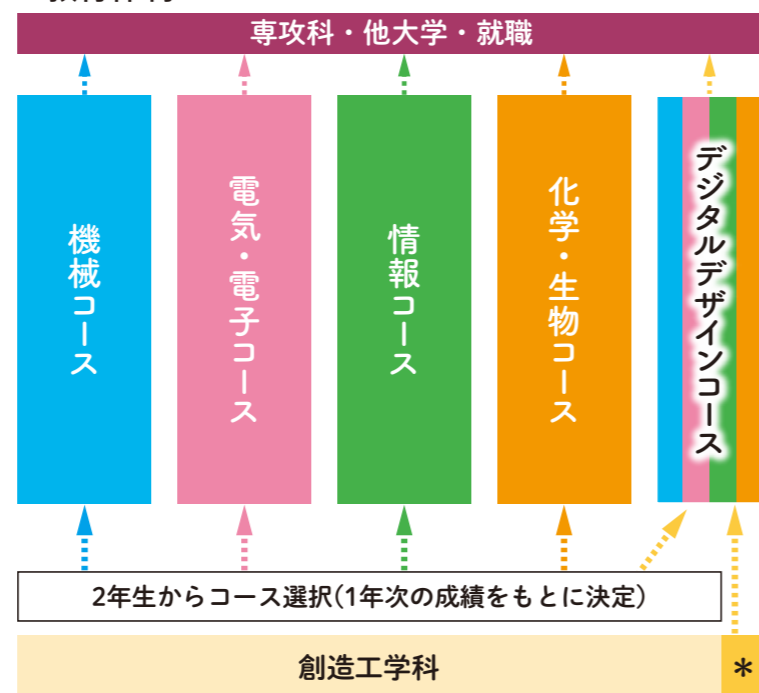


学科再編のため新設された8号館



最大で180名収容可の大講義室

#### ■教育体制



\*デジタルデザインコース推薦入学(10名)

### 基盤教育グループ Center for Fundamental Education

高度な技術を身につけた優れた実践的技術者として産業界で活躍するためには、専門的な知識や技術の修得はもちろん、幅広い知識や豊かな教養を身につけ人間性を高めることが大切です。そのため、の教科が「一般科目」で、基盤教育グループの教員が担当します。

一般科目は、専門のさまざまな問題を的確にとらえ柔軟に対処できる基本的な能力を養うことを目指す基礎専門科目と、産業界の国際化に対応できる能力と情操豊かで健全な社会人の育成を目指す一般教養科目から成っています。低学年を中心に高学年まで授業が行われ、優れた技術者を養成するための重要な役割を担っています。



1年生 国語Iでのグループワーク

### 教員及び専門分野 Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

氏名 Name	職名 Title	学位等 Degree	専門分野 Specialties
阿部 秀樹 ABE, Hideki	准教授 Associate Professor	博士(英語学) Ph.D.	英語音声学・音韻論、第二言語の音韻習得 English Phonetics and Phonology, L2 Phonology
石井 智子 ISHII, Tomoko	講師 Lecturer	修士(文学) M.A.	近代におけるキリスト教思想の展開 The Development of Christian Thought in Modern Times
伊藤 卓朗 ITO, Takuro	准教授 Associate Professor	博士(生命科学) Ph.D.	細胞機能、生物多様性、地域資源 Cell Functions, Biodiversity, Wild Resources
大西 宏昌 OHNISHI, Hiromasa	教授 Professor	博士(理学) D.Sc.	理論固体物理学 Theoretical Solid State Physics
菅野 智城 KANNO, Tomoshiro	准教授 Associate Professor	修士(文学) M.A.	イギリス文学 English Literature
木村 太郎 KIMURA, Taro	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	微分幾何学 Differential Geometry
桜井 巨大 SAKURAI, Kodai	助教 Assistant Professor	博士(理学) Ph.D.	素粒子論 Elementary Particle Theory
杉本 恭司 SUGIMOTO, Kyoji	助教 Assistant Professor	博士(理学) Ph.D.	微分幾何学 Differential Geometry
武政 篤 TAKEMASA, Atsushi	講師 Lecturer	修士(教育学) M.A.	英語教育学、学習動機づけ、第二言語習得 English Language Education, Learner Motivation, Second Language Acquisition
時本 純 TOKIMOTO, Jun	講師 Lecturer	博士(理学) Ph.D.	理論物性物理、量子エレクトロニクス Theoretical Physics, Quantum Electronics
野々村 和晃 NONOMURA, Kazuaki	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	環論 Ring Theory
廣田 大輔 HIROTA, Daisuke	講師 Lecturer	博士(理学) Ph.D.	関数解析学 Functional Analysis
本間 浩二 HONMA, Koji	教授 Professor	修士(スポーツ科学) M.Sport Sc.	ラグビー Rugby Football
松橋 将太 MATSUHASHI, Shota	准教授 Associate Professor	修士(体育学) M.P.Ed.	トレーニング方法論 Training Methodology
百井 順子 MOMOI, Junko	助教 Assistant Professor	博士(文学) Ph.D.	平安文学 Literature of Heian Period
森木 三穂 MORIKI, Miho	准教授 Associate Professor	修士(国文学) M.A.	国文学 Japanese Literature
山田 充昭 YAMADA, Mitsuaki	教授 Professor	博士(文学) Ph.D.	日本史学 Japanese History

### 設 備 Equipments

室名	主な設備
物理実験室	力学実験器具一式、光学台、水熱量計、電流・電圧計、オシロスコープ、気柱共鳴装置、線スペクトル光源装置、分光計、He-Neガスレーザー装置、GM計数装置、ビデオカメラ、プロジェクト用スクリーン、シンチレーション・サーベイメータ
一般化学・分析化学実験室	一般化学実験器具一式、可視分光光度計、電気炉、精密電子天秤、換水製造装置、pHメーター、マイクロピペット、定温乾燥器

## 機械コース Course of Mechanical Engineering

機械コースでは、様々な産業分野で使われる機械の開発・設計や、信頼性の高い製品を効率良く作るための考え方、製造法等を総合的に学習します。具体的には、機械に利用される材料の性質や強さ、その合理的な加工法、水・熱・空気に関する基礎理論や機械の構造と力の伝わり方などの専門知識を学習します。加えて、実験、実習、設計製図を通して、実践技術を身につけます。

さらに、最近では自動化が進み、機械工学の内容は、電気・電子や情報工学の分野とも深い関わりを持つようになってきました。本コースではそれらに対応するために、上記の機械系科目を基本に、情報処理やCADを学習し、実験のデータ処理や解析、設計製図の能率化に役立てます。さらに、マイコン制御、メカトロニクスなどの電気系、制御系科目の基礎も学習し、幅広い知識を身につけます。

卒業研究では教員とのマン・ツー・マンのふれあいにより、豊かな人間性の形成と技術に関する総合的判断力、創造性、応用力、研究及び調査の立案や発表能力を養います。工業界のあらゆる分野で活躍できる教養豊かな機械技術者の育成を目指しています。



5年生 マイコン制御実験



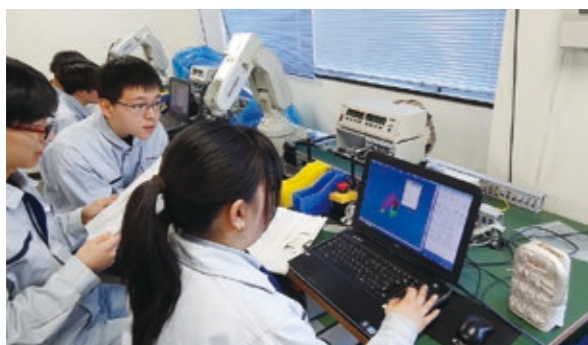
4年生 マシニングセンタ実習



4年生 CAD実習



5年生 流体力学実験



5年生 ロボットアームによるFA実験



旋盤実習

## 教員及び専門分野 Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

氏名 Name	職名 Title	学位等 Degree	専門分野 Specialties
荒船博之 ARAFUNE, Hiroyuki	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	材料科学、分析化学 Material Science, Analytical Chemistry
五十嵐幸徳 IKARASHI, Yukinori	嘱託准教授 Part-time Associate Professor	工学修士 M.Eng.	材料工学 Material Engineering
遠藤大希 ENDO, Hiroki	助教 Assistant Professor	博士(工学) D.Eng.	3Dプリンタ、風力・水力エネルギー 3D Printing, Wind / Hydro Energy
小野寺良二 ONODERA, Ryoji	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	計測制御、医療福祉工学 Instrumentation & Control, Medical and Welfare Engineering
佐々木裕之 SASAKI, Hiroyuki	准教授 Associate Professor	博士(理工学) D.Sc.Tech.	ロボット工学 Robotics
穴戸道明 SHISHIDO, Michiaki	教授 Professor	博士(工学)、 技術士(機械・総監) Ph.D., Professional Eng.	ME工学 Medical Engineering
徐嘉樂 XU, Jiale	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	MEMS、触覚ディスプレイ、化学分析チップ MEMS, Tactile texture displays, Chemical analysis chips
矢吹益久 YABUKI, Masuhisa	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	真空工学 Vacuum Engineering
和田真人 WADA, Masato	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	ソフトロボティクス・メカニクス、トライボロジー Soft Robotics / Mechanics, Tribology

## 設備 Equipments

区分	主な設備
実習工場	立形マシニングセンタ、普通旋盤、NC旋盤、立フライス盤、横フライス盤、ホブ盤、ラジアルボール盤、卓上ボール盤、平面研削盤、TIG溶接機、アーク溶接機、ガス溶接機、コンターマシン、射出成形機、ワイヤ放電加工機、ファイバーレーザ加工機、手仕上げ器具一式、3Dプリンタ
製図室	パソコン50台、レーザープリンタ2台、SolidWorks 2013
電子顕微鏡室	走査電子顕微鏡、三次元測定器
デザイン工学分野	水力実験装置、吹出し式風洞、熱線風速計、燃焼排ガス分析計、放射温度計、FA実験装置、デジタルオシロスコープ、各種トルクメータ、シャルピー試験機、硬度計各種、精密万能試験機、油圧サーボ疲労試験機、パソコン15台、レーザープリンタ3台、風洞実験装置、三分力計、ベッツ型微気圧計、熱線風速計、振動実験装置、超音波風速計、油回転真空ポンプ、太陽電池、鉛蓄電池、往復摺動摩擦試験機、大型UVボックス、3Dプリンター(熱溶解積層方式、光造形方式)、3Dスキャナー、CO2レーザー加工機、卓上ロボットアーム、簡易ドラフト
メカトロニクス分野	自操型/介助型車いす、電動車いす、6軸力覚センサ(有線・無線)、慣性センサ、筋電センサ、体圧分布センサ(分布版)、3Dプリンタ、非接触変位計、位相差顕微鏡、落射蛍光装置、CO2インキュベータ、クリーンベンチ、高速遠心機、超低温フリーザ、高圧蒸気滅菌機、脳波計、光トポグラフィ、チルトテーブル、シールドルーム、α波測定器、研究用血流計、心拍計、放射温度計、体圧分布測定装置、ドローン
資源エネルギー分野	万能試験機、摩擦試験機、接触角計、真空オープン、エレクトロスピナー、蒸留水製造装置、精密天秤、マイクロ波プラズマ発生装置、高周波マイクロプラズマ源、マルチチャンネル分光器、四重極型質量分析装置、RF電源、紫外可視分光光度計
材料工学分野	万能金属顕微鏡、焼入用電気炉、硬度計、超耐熱材料作製システム(放電プラズマ焼結機)、自動乳鉢、手動式ミニプレス、自動研磨装置、真空乾燥システム、実験用遊星回転ポットミル、イメージファーンエス、簡易型グローブボックス、試料樹脂込め装置

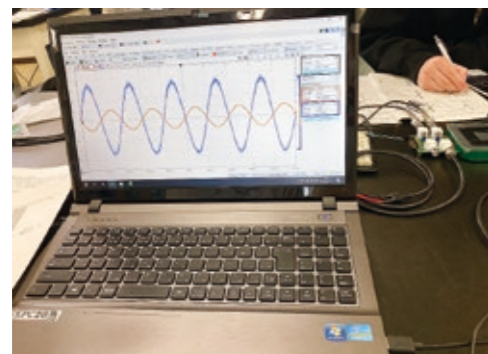
電気・電子コースでは、現代社会に欠くことのできない『エレクトロニクス』、『情報・通信』、『電気エネルギー』の3分野を教育の柱とし、各分野のバランスのとれた学習で急激に発展する産業界で活躍できる創造性豊かな総合電気電子技術者の養成を目指しています。

具体的には、家庭の各種電化製品の便利な機能と深く関わるエレクトロニクスやマイクロコンピュータの活用、コンピュータによる情報処理とITやインターネットなどと密接に関係する情報通信、それにこれらの電気電子機器やコンピュータから新幹線まであらゆるところで不可欠な電気エネルギーの発生等、電気電子の基礎から応用までをアナログ、デジタル両面から学習することができます。

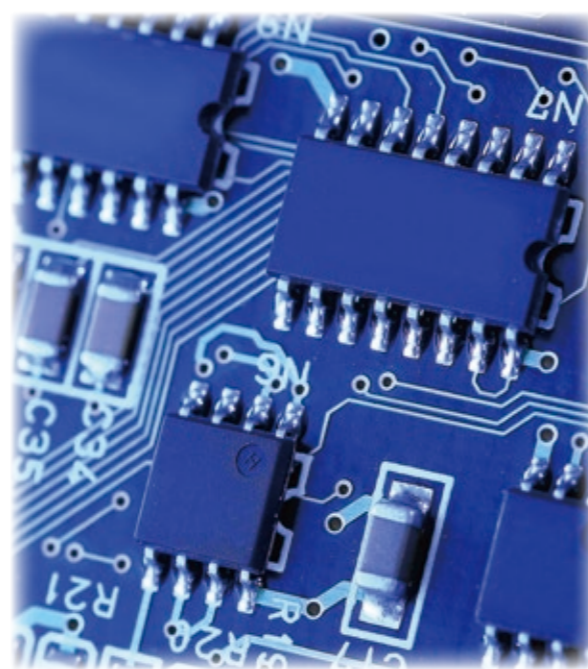
またコンピュータに関係しては、1年生から5年生まで満遍なくプログラミングや情報処理について演習中心に学び、高学年ではe-ラーニング教材によるIT教育も取り入れ、ハードウェアからネットワークシステムに関するソフトウェアまでを学習してマルチメディアに対応できる基礎を身に付けることができます。

他方高学年で、必要な科目を選択して修得し、さらに定められた実務経験によって第2種電気主任技術者の資格認定を受けることができます。

教室での授業以外にインターンシップや工場見学で実社会の見聞を広め、卒業研究では教員が学生一人一人に対し、研究テーマの選定、研究の進め方、論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方等の指導を行っており、自分で課題発見・計画・実行できる技術者が育つ環境が整っております。



4年生 演算増幅器の実験



3年生 論理回路の実験



4年生 シーケンス制御の実験

教員及び専門分野 Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

氏名 Name	職名 Title	学位等 Degree	専門分野 Specialties
伊藤 絵里香 ITO, Erika	准教授 Associate Professor	博士(農学) D.Agr.	土木環境システム Civil engineering and environmental systems
内山 潔 UCHIYAMA, Kiyoshi	嘱託教授 Part-time Professor	博士(工学) D.Eng.	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials
倉本 浩司 KURAMOTO, Koji	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	エネルギー変換工学 Energy Conversion
櫻庭 崇紘 SAKURABA, Takahiro	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	制御工学 Control Engineering
佐藤 智也 SATO, Tomoya	助教 Assistant Professor	修士(工学) M.Eng.	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials
田中 勝 TANAKA, Masaru	准教授 Associate Professor	修士(工学) M.Eng.	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials
チャンフウタン TRAN Huu Thang	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	電力工学 Electric Power Engineering
宝賀 剛 HOGA, Takeshi	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials
保科 紳一郎 HOSHINA, Shinichiro	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	電波工学 Microwave Technology
森谷 克彦 MORIYA, Katsuhiko	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	電気電子材料 Electrical and Electronic Materials
渡部 誠二 WATANABE, Seiji	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	デジタル信号処理 Digital Signal Processing

設備 Equipments

部屋/場所/区分/応用分野等	主な設備
エレクトロニクス	近赤外分光測定装置、微弱分光測定装置環境モニタリングシステム、ロジックアナライザ、分光器、光干渉計システム、レーザ装置、光パワーメータ、LCRメータ、ピコアンペアメータ、赤外線温度計、光学顕微鏡、マルチチャンネル分光計、照度計、輝度計、球形光束計、NI ELVIS、NI MyDAQ、MATLAB/Simulink、NI LabVIEWキット、サーバマシン、FPGA評価ボード、ワークステーション、オシロスコープ
メカトロニクス	ネットワークアナライザ、電波暗箱、標準アンテナ、スペクトラムアナライザ、信号発生器、ロジックアナライザ、オシロスコープ、マルチメータ
資源エネルギー	直流電動機、直流発電機、三同期発電機、単相および三相誘導電動機、三同期電動機、変圧器、動力計、シリコン整流装置、インバータ、サイリスタ実験装置、300kV衝撃電圧発生装置、100kV交流電圧発生装置、100kV直流電圧発生装置、RF電源、燃料電池特性評価装置、LCRメータ、デジタルオシロスコープ、デジタルマルチメータ、シーケンサ
材料工学	恒温恒湿装置、恒温槽、超高真空スパッタリング成膜装置、真空蒸着装置、エアロゾルデポジション薄膜形成装置、スピンコーター、抵抗線加熱蒸着装置、ディップコーター、スクリーン印刷機、ガス置換電気炉、プロフェッショナルメータ(pH、導電率)、スポットUV照射装置、超純水製造機、振動試料型磁力計、極低温特性測定システム、ホール測定装置、ソースメジャーユニット(2ch)、膜厚モニター、プローバ、LCRメータ、電界放射形走査電子顕微鏡、大口径エネルギー分散型X線分析装置、イオン化ポテンシャル測定装置
基礎計測	直流安定化電源、電圧計、電流計、発信器、ファンクションジェネレータ、デジタルマルチメータ、オシロスコープ

情報技術を活用したシステムの進歩は、世界の人の生活を格段に豊かにしています。日進月歩で次々と新しい発想や技術が生まれている今日において、発想力や実践力のある技術者を目指して学習しています。

情報コースでは、情報工学にかかわるソフトウェア工学、情報ネットワーク工学、コンピュータ工学などのソフトウェア系やハードウェア系、ならびにシステムの制御に関連した専門知識を修得します。

4年次に選択する7分野のうち、情報コース在籍者が選択できる分野は、ITソフトウェアとメカトロニクスの2分野となっています。

ITソフトウェア分野では、情報工学に関する基礎専門知識や実践能力を身につけた高度情報化社会に適応できる技術者を養成します。

機械工学、電気電子工学、情報工学、制御工学の知識を融合させたメカトロニクス分野では、人間の生活向上にかかせない産業ロボットや人間支援ロボットなどを開発、製造できる技術者を養成します。

課題発見解決型教育である実験、実習、ゼミでは、理論の裏付けを行いながら、各分野（電気電子系、機械系、情報系、制御系）間の有機的なつながりを十分な時間をかけて学びます。また、在学中に情報処理技術者試験、英語検定試験などの国家試験にチャレンジできる力を養います。最終学年では、個別指導のもとで卒業研究を行い、総合的な応用力の向上を図り、創造的・実践的技術者を目指していきます。



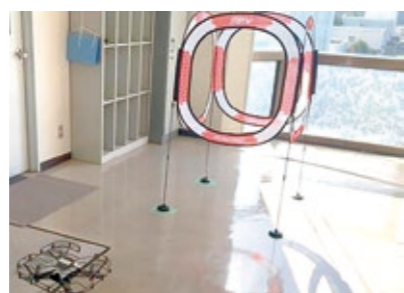
情報コース（3号館）



4年生「校外実習」企業見学により最新技術トレンドを現場に学ぶ



2年生「工学実験・実習Ⅰ」  
仮想空間の作成と仮想現実の体験実習



3年生「工学実験・実習Ⅱ」  
ドローンプログラミング



5年生「工学実験・実習Ⅳ」  
信号処理に関する実験風景

氏名 Name	職名 Title	学位等 Degree	専門分野 Specialties
安齋 弘樹 ANZAI, Hiroki	准教授 Associate Professor	博士(工学) Ph.D.	計算電磁気学 Computational Electromagnetics
岩佐 はな子 IWASA, Hanako	助教 Assistant Professor	修士(薬学) M.A.	乳がん Breast Cancer
遠藤 博寿 ENDO, Hiroto	准教授 Associate Professor	博士(理学) Ph.D.	海洋生物学、遺伝子工学、生物情報科学 Marine Biology, Genetic Engineering, Bioinformatics
小野寺 優希也 ONODERA, Yukiya	助教 Assistant Professor	修士(工学) M.A.	数値最適化 Optimization
グアングレナ ギジェルモ GUANGORENA, Guillermo	助教 Assistant Professor	博士(工学) Ph.D.	バイオ資源応用、生命科学イノベーション Applied Bioresources, Life Science Innovation
金 帝演 KIM, Jeyeon	准教授 Associate Professor	博士(工学) Ph.D.	位置特定、センシング、農業ICT Positioning, Sensing, ICT for agriculture
倉田 かりん KURATA, Karin	講師 Lecturer	博士(芸術工学) Ph.D.	アントレプレナーシップ、統計学 Entrepreneurship, Statistics
高橋 聡 TAKAHASHI, Sou	准教授 Associate Professor	博士(工学) Ph.D.	センサ工学 Sensor Engineering
森 隆裕 MORI, Takahiro	准教授 Associate Professor	博士(工学) Ph.D.	生体医工学、バイオメカニクス Biomedical Engineering, Biomechanics

設備 Equipments

部屋/場所/区分	主な設備
情報コース	MATLAB/Simulink、Siemens PCS7、Siemens TIA Portal、Omron Sysmac Studio、Omron CX-one、Siemens S7-1500、Siemens S7-1200、GeForce RTX 3070 Ti 8GB GDDR6X PCI Express 4.0 Graphics Card、Phantom 3 advanced、AMOS、SPSS、Markforged ONIX one、Elitech RC-4、Walfront Wal frontnydaor0hiz-02、三次元モデリングソフト(Rhino 7)、き裂進展モニタ(CGM-7)、ホプキンソン棒法衝撃試験機、デジタルオシロスコープ(WavePro 751Zi)、マルチ入力データロガー(NR-600)、遺伝子解析用ソフトウェア(ゼネティクス、Genetyx Ver. 16)、塩基配列解析用ソフトウェア(Dotmatics、SnapGene)、微量分光光度計(Thermo Fisher、Nano Drop Lite Plus)、マイクロインジェクター(Narishige、IM-12)、セルカウンター(Denovix、CellDrop-FL)、5段階インキュベータ(EYELA、Temperature-Gradient Incubator/MTI-201)、インキュベータ(NK systems、Bio-Incubator/LP-130P)、蛍光実体顕微鏡(Olympus、SZX7、U-RFL-T)、正立顕微鏡2台(Olympus、BX53、CX33)、倒立顕微鏡(Olympus、CKX41(Olympus))、Thermal Cycler(TaKaRa、Dince)、Trans-Illuminator(UVP、LMS-20)、微量遠心機(TOMY、AX-501)、オートクレーブ(TOMY、LBS-245)、自作電波暗室、自作大出力マイクロ波発信器

今、世界は、地球温暖化が原因とも考えられている気象変動や資源の枯渇に対する不安、経済発展によるエネルギー消費量の増大等、これまでに私たちが経験してきたことのない様々な課題で溢れようとしています。どこかの国の出来事がすぐに世界を巻き込んだ問題へと変化していきます。

このような世界規模のめまぐるしい変化の中で生活水準を維持し、さらに発展させるためには、これまでに無い物質や材料の開発が絶対に必要になります。また、既にある製品のリサイクル方法や効率の良い生産方法の発見も重要な課題です。

そこで「化学・生物コース」では、これからやって来る様々な課題に対応することが出来る技術者・研究者を養成することを目的として、物質・材料や、バイオテクノロジー等の基礎を学ぶために必要な学習環境を提供します。学習の基本は豊富な実験・実習であると考え、これらの時間を確保し、新技術の開発や応用についての基礎的な理論と実践を低学年から学びます。そして4年生からは基礎応用技術を主とした「材料工学」「資源エネルギー」「環境バイオ」の3分野から選択できるようになります。卒業研究では「1人に1テーマ」のもとで少人数教育を行い、技術者・研究者となるために必要な知識やセンスを学ぶことができます。



2年生 学生実験



3年生 学生実験



4年生 学生実験



4年生 学生実験レポート指導



5年生 卒業研究

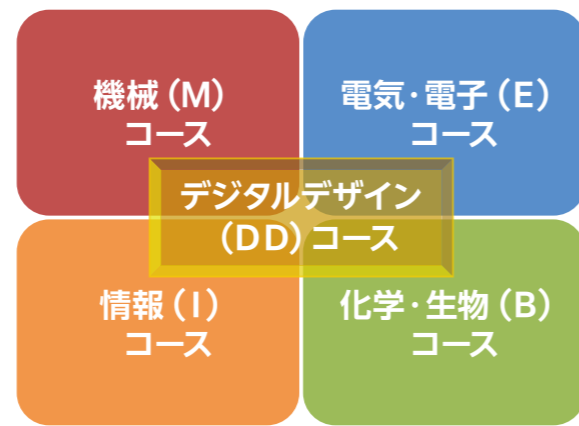
氏名 Name	職名 Title	学位等 Degree	専門分野 Specialties
阿部達雄 ABE, Tatsuo	助教 Assistant Professor	博士(工学) D.Eng.	環境化学、イオン交換、生物無機化学 Environmental Chemistry, Ion Exchange, Biological Inorganic Chemistry
伊藤滋啓 ITO, Shigeharu	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	無機化学、結晶化学、材料科学 Inorganic Chemistry, Crystal Chemistry, Material Science
上條利夫 KAMUO, Toshio	教授 Professor	博士(理学) D.Sc.	分析化学、材料科学、トライボロジー Analytical Chemistry, Material Science, Tribology
久保響子 KUBO, Kyoko	准教授 Associate Professor	Dr. rer. nat. Dr. rer. nat.	微生物生態学、環境微生物学、分子生態学 Microbial Ecology, Environmental Microbiology, Molecular Ecology
小寺喬之 KODERA, Takayuki	准教授 Associate Professor	博士(工学) D.Eng.	化学工学、無機化学、材料化学 Chemical Engineering, Inorganic Chemistry, Material Chemistry
斎藤菜摘 SAITO, Natsumi	教授 Professor	博士(薬学) D.Pharm.	微生物工学、生化学 Microbial Engineering, Biochemistry
佐藤司 SATO, Tsukasa	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	高分子化学 Polymer Chemistry
八須匡和 HACHISU, Masakazu	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	生体分子化学、有機合成化学 Biomolecular Chemistry, Synthetic Organic Chemistry
松浦由美子 MATSUURA, Yumiko	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	無機化学、触媒化学 Inorganic Chemistry, Catalytic Chemistry
丸山祐樹 MARUYAMA, Yuki	助教 Assistant Professor	博士(工学) D.Eng.	電気化学、高分子化学 Electrochemistry, Polymer Chemistry
南淳 MINAMI, Atsushi	教授 Professor	博士(理学) D.Sc.	分子生態学、植物生理学 Molecular Ecology, Plant Physiology
森永隆志 MORINAGA, Takashi	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	高分子化学、材料化学 Polymer Chemistry, Material Chemistry

設備 Equipments

室名	部屋/場所/区分	主な設備
分析装置	分光分析	高周波誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP)、誘導結合プラズマ質量分析法(ICP-MS)、ダブルビーム分光光度計、原子吸光光度計、フーリエ変換赤外分光分析装置(FT-IR)、多角度光散乱検出器、紫外可視分光光度計、蛍光分光光度計
	電磁気分析	フーリエ変換核磁気共鳴装置(FT-NMR)、走査型X線電子分光分析装置(XPS)、X線回折装置(XRD)
	電気分析	周波数応答解析装置、走査型電気化学顕微鏡、交流インピーダンス測定装置、電池充放電試験装置、燃料電池評価装置
	分離分析	高速液体クロマトグラフ(HPLC)、イオンクロマトグラフ(IC)、ガスクロマトグラフ(GC)、ゲル透過クロマトグラフ(GPC)、低速タンパク質クロマトグラフ、ガスクロマトグラフィ質量分析装置(GCMS)
製造装置など	その他の分析	示差熱・熱量同時測定装置(TG-DTA)、示差走査熱天秤装置(DSC)、熱機械分析装置(TMA)、走査型電子顕微鏡(SEM)、電界放出型走査電子顕微鏡(FE-SEM)、電界放出形電子顕微鏡・エネルギー分散形X線分析装置(EDS)、レーザー顕微鏡、レーザー回折式粒度分布測定装置、比表面積測定装置、原子間力顕微鏡(AFM)、DNAシーケンサー、フローサイトメータ、リアルタイムPCR装置、遺伝子増幅装置、材料試験機、蛍光顕微鏡、透過型電子顕微鏡(TEM)、共焦点レーザー走査型顕微鏡(CLSM)、摩擦摩耗試験装置
	化学工学系	高速遠心機、ディスペンサー、UV照射装置、エレクトロスピンニング、凍結粉碎機
	生物工学系	超低温フリーザー、エアインキュベーター、低温インキュベーター、CO <sub>2</sub> インキュベーター、バイオシェーカー、超音波ホモジナイザー、動物飼育制御装置、超純水製造装置、クリーンベンチ、人工気象器、真空遠心濃縮装置
その他	ドライルーム、低湿度グローブBOX、低酸素グローブBOX	

## デジタルデザインコース Course of Digital Design

デジタルデザイン（以下DD）の“デザイン”には、いわゆる“デザイン＝意匠”という意味はもちろんですが、計画・設計・発案などの様々な意味が含まれています。つまり、“DD”には、デジタル技術を使っているものを調べたり創ったりしようという意図が込められています。DDコースは、デジタル技術を軸に、機械、電気・電子、情報、化学・生物の4つの系を横断する形で令和7年度に設置された新しいコースです。他のコースと異なり、本コースの学生はDDコースに所属するとともに、上記の4つのいずれかの専門系を選択します。本コースの最も大きな特色である「デジタルデザイン実践工学」という授業では、「低学年から研究活動」をコンセプトに、学生が自らテーマを決めて自ら進んで探究活動を行います。また、コースの学生ひとりひとりにメンター教職員を配置してテーマの設定から活動までを包括的にサポートする体制をとっています。



コースの学生全員に探究活動用のiPad Airを貸与



授業における活発な意見交換



デジタルデザイン実践工学の授業の様子

## 教員及び専門分野 Teaching Staff and Specialties

氏名の五十音順に記載

氏名 Name	職名 Title	学位等 Degree	専門分野 Specialties
荒船博之 ARAFUNE, Hiroyuki	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	材料科学、分析化学 Material Science, Analytical Chemistry
遠藤博寿 ENDO, Hiroto	准教授 Associate Professor	博士(理学) D.Sc.	海洋生物学、遺伝子工学、生物情報科学 Marine Biology, Genetic Engineering, Bioinformatics
小野寺良二 ONODERA, Ryoji	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	計測制御、医療福祉工学 Instrumentation & Control, Medical and Welfare Engineering
上條利夫 KAMUO, Toshio	教授 Professor	博士(理学) D.Sc.	分析化学、材料科学、トライボロジー Analytical Chemistry, Material Science, Tribology
斎藤菜摘 SAITO, Natsumi	教授 Professor	博士(薬学) D.Pharm.	微生物工学、生化学 Microbial Engineering, Biochemistry
佐藤司 SATO, Tsukasa	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	高分子化学 Polymer Chemistry
田中博 TANAKA, Hiroshi	特命教授 Specially Appointed Professor	博士(工学) D.Eng.	通信工学、情報工学 Telecommunication Engineering, Information Engineering
森永隆志 MORINAGA, Takashi	教授 Professor	博士(工学) D.Eng.	高分子化学、材料化学 Polymer Chemistry, Material Chemistry

## 7つの応用分野について 7 Application Fields

令和8年度に在籍している3年次以上の学生は、4～5年次には応用分野である専門4分野：デザイン工学分野、エレクトロニクス分野、ITソフトウェア分野、環境バイオ分野と融合複合3分野：メカトロニクス分野、資源エネルギー分野、材料工学分野から各自が選択し所属します\*。

この7分野は、社会動向及び地域ニーズを反映させた内容となっており、問題発見・解決能力等の実践力を養成することを目的に設置されました。

\*所属コースによって一部選択不可の分野があります。

### ITソフトウェア分野 IT and Software

情報工学に関する基礎・専門知識や実践能力を身につけた高度情報化社会に適応できる技術者・研究者を養成するための研究活動を行います。

### エレクトロニクス分野 Electronics Engineering

デジタル信号処理と電子回路を主とした「ICT・IoT活用」、「デジタル信号処理」、「組み込みシステム」、「電力エネルギー」、「固体物性」、「数値シミュレーション」、「独立成分分析」等の専門、e-ラーニング教材を利用したIT教育によるハードウェアからネットワークシステムに関するソフトウェアまでマルチメディアに対応できる基礎を学習します。

### デザイン工学分野 Design Engineering

機械分野を中心とした科目を学び、エンジニアリング・デザイン（種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン）能力を育成し、機械装置における、構想、企画、設計、製造、流通、保守、廃棄、再生に関連する技術を、社会情勢に即して探求します。

### 環境バイオ分野 Environmental and Biological Engineering

微生物学、分子生物学、生化学、環境化学、分析化学などの学問領域を基盤に、土壌・海洋の有用微生物探索、微生物発酵、野生植物の生態研究、水環境改善の技術開発などをテーマとした未踏領域の先進研究を行います。

### メカトロニクス分野 Mechatronics

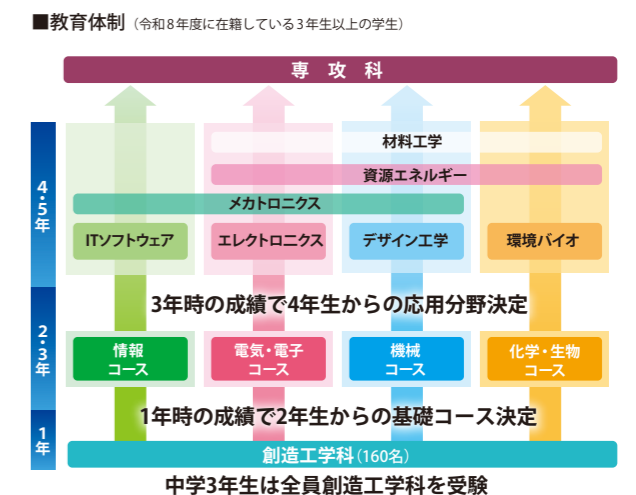
機械、電気・電子、情報をかけ合わせた分野横断的な研究分野であり、垣根を超えた幅広い領域での研究活動を実現します。

### 資源エネルギー分野 Natural Resources and Energy

材料科学、有機化学、化学工学、トライボロジーなど多岐にわたる学問領域を基盤として、低環境負荷のプロセス開発、新素材やエネルギーデバイスの創製、微粒子合成法の開発などの研究アプローチで持続可能な社会の実現を目指した課題に取り組みます。

### 材料工学分野 Materials Engineering

「超耐熱材料」、「機能性薄膜」、「燃料電池」、「太陽電池」、「MEMS」、「高分子材料」、「表面処理・湿式成膜」、「有機合成」、「バイオマス」などを専門とする分野所属教員のもと、特に「ものづくり」を研究テーマの中心に考え、デバイス化を含めた新素材に関する研究活動を行います。



一般科目

創造工学科

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目 (主要基礎科目)	国語Ⅰ	3	3 <sup>(-)</sup>					
	国語Ⅱ	3		3 <sup>(-)</sup>				
	国語Ⅲ	3			3 <sup>(-)</sup>			
	地理	3	3 <sup>(-)</sup>					
	倫理	2	2 <sup>(-)</sup>					
	歴史Ⅰ	3		3 <sup>(-)</sup>				
	歴史Ⅱ	1			1 <sup>(-)</sup>			
	政治・経済	2			2			
	数学Ⅰ	4	4					
	数学Ⅱ	2	2					
	数学Ⅲ	4		4				
	数学Ⅳ	2		2				
	数学Ⅴ	3			3			
	数学Ⅵ	2			2			
	英語Ⅰ	3	3					
	英語Ⅱ	3	3					
	英語Ⅲ	3		3				
	英語Ⅳ	3		3				
	英語Ⅴ	2			2			
	英語Ⅵ	2			2			
	化学Ⅰ	3	3					
	化学Ⅱ	1	1	1				
	物理Ⅰ	1	1					
物理Ⅱ	2		2					
物理Ⅲ	2			2				
生物	1	1						
音楽	1	1						
美術	1	1						
保健・体育Ⅰ	3	3						
保健・体育Ⅱ	2		2					
保健・体育Ⅲ	2			2				
日本語Ⅰ	(2)			(2)			留学期間	
日本語Ⅱ	(2)			(2)			留学期間	
日本事情	(2)			(2)			留学期間	
履修単位数			29	24	19	0	0	
(必修科目)主要科目	英語Ⅶ	2				2		
	保健・体育Ⅳ	2			2 <sup>(-)</sup>			
	保健・体育Ⅴ	1				1 <sup>(-)</sup>		
	ドイツ語Ⅰ	1			1			
	ドイツ語Ⅱ	2				2 <sup>(-)</sup>		
語学演習	1					1 <sup>(-)</sup>		
履修単位数			0	0	0	5	4	

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

学科共通必修科目

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数					
			1年	2年	3年	4年	5年	
学科共通必修科目	情報リテラシーⅠ	1	1					
	情報リテラシーⅡ	1		1				
	地域コミュニティ学	1	1 <sup>(-)</sup>					
	デジタルデザイン応用工学Ⅰ※	1	1					
	総合工学Ⅰ※	1	1					
	創造基礎実習	2	2					
	総合デジタルデザイン工学Ⅰ※	1	1					
	総合情報工学Ⅰ※	1	1					
	応用数学Ⅰ	3					3	
	応用数学Ⅱ	2						2 <sup>(-)</sup>
	応用物理Ⅰ	2				2		
	卒業研究	12						12
履修単位数			6	1	2	3	14	

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

※1年生でデジタルデザインコースに配属された学生はデジタルデザイン応用工学Ⅰ及び総合デジタルデザイン工学Ⅰを履修し、それ以外の学生は総合工学Ⅰ及び総合情報工学Ⅰを履修する。

専門科目

創造工学科(機械コース)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目 (主要基礎科目)	総合工学Ⅱ	1		1				
	総合工学Ⅲ	1			1			
	工学実験・実習Ⅰ	2		2				
	工学実験・実習Ⅱ	2			2			
	総合情報工学Ⅱ	1		1				
	総合情報工学Ⅲ	1			1			
	情報処理Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	1			1			
	電気基礎Ⅰ	1		1				
	電気基礎Ⅱ	1			1			
	材料力学Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅱ	2			2			
	工業力学	2			2			
	生産加工学	2			2			
	機械製図	2		2				
履修単位数			0	8	14	0	0	
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1					1	
	総合工学Ⅳ	1					1	
	工学実験・実習Ⅲ	3					3	
	工学実験・実習Ⅳ	2						2
	総合情報工学Ⅳ	1					1	
	応用物理Ⅱ	2				2 <sup>(-)</sup>		
	情報処理Ⅲ	1				1		
	数値解析	1					1 <sup>(-)</sup>	
	材料力学Ⅱ	2				2 <sup>(-)</sup>		
	材料力学Ⅲ	1				1		
	機械力学Ⅰ	1				1		
	機械力学Ⅱ	1					1 <sup>(-)</sup>	
	機械要素設計	2				2 <sup>(-)</sup>		
	デザイン工学	1				1		
	熱力学	2				2		
	熱力学演習	1					1	
	水力学	2				2		
	水力学演習	1					1	
機構学	1				1			
工業英語	1					1 <sup>(-)</sup>		
機械設計製図Ⅰ	4				4			
機械設計製図Ⅱ	3					3		
マイコン制御	1				1 <sup>(-)</sup>			
メカトロニクス	1				1 <sup>(-)</sup>			
制御工学Ⅰ	2				2 <sup>(-)</sup>			
制御工学Ⅱ	2					2 <sup>(-)</sup>		
電子回路	1				1 <sup>(-)</sup>			
医療福祉機器工学	1					1		
履修単位数			0	0	0	29	14	
選択科目	生産工学	1					1 <sup>(-)</sup>	
	精密加工学	1					1 <sup>(-)</sup>	
	エネルギー変換工学	1					1 <sup>(-)</sup>	
履修可能単位数			0	0	0	0	3	

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

創造工学科(電気・電子コース)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目 (主要基礎科目)	総合工学Ⅱ	1		1				
	総合工学Ⅲ	1			1			
	工学実験・実習Ⅰ	2		2				
	工学実験・実習Ⅱ	2			2			
	総合情報工学Ⅱ	1		1				
	総合情報工学Ⅲ	1			1			
	プログラミング演習	1		1				
	情報処理Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅰ	2		2				
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電気磁気学Ⅰ	2			2			
	電気機器Ⅰ	1			1			
	電子工学	2			2			
	電気電子計測	2			2			
履修単位数			0	8	14	0	0	
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1					1	
	総合工学Ⅳ	1					1	
	工学実験・実習Ⅲ	3					3	
	工学実験・実習Ⅳ	2						2
	総合情報工学Ⅳ	1					1	
	応用物理Ⅱ	2				2 <sup>(-)</sup>		
	情報処理Ⅲ	1				1		
	電気回路Ⅲ	1				1		
	電気回路演習	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	2				2		
	電気磁気学演習	1				1		
	電気機器Ⅱ	2				2 <sup>(-)</sup>		
	電気電子材料	2				2		
	電気電子製図	2				2		
	通信工学	2				2		
	情報通信	1				1		
	デジタル回路	2				2 <sup>(-)</sup>		
	電子回路	2				2 <sup>(-)</sup>		
	電子回路演習	1				1		
	発変電工学	2					2	
	送配電工学	2					2 <sup>(-)</sup>	
電気法規及び電気施設管理	1					1		
制御工学	2					2 <sup>(-)</sup>		
計算機工学	2					2 <sup>(-)</sup>		
ネットワーク演習	1					1 <sup>(-)</sup>		
パワーエレクトロニクス	1					1 <sup>(-)</sup>		
工業英語	1					1 <sup>(-)</sup>		
機械工学概論	1					1 <sup>(-)</sup>		
履修単位数			0	0	0	28	15	
選択科目	デジタル信号処理	2				2 <sup>(-)</sup>		
	高電圧工学	2				2 <sup>(-)</sup>		
	電子回路設計	1					1 <sup>(-)</sup>	
	電気機器設計	1					1 <sup>(-)</sup>	
	マイクロコンピュータ	2					2 <sup>(-)</sup>	
	電気応用	2					2 <sup>(-)</sup>	
	生産工学	1					1 <sup>(-)</sup>	
	医療福祉機器工学	1					1	
履修可能単位数			0	0	0	4	8	

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

創造工学科(情報コース)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目 (主要基礎科目)	総合工学Ⅱ	1		1				
	総合工学Ⅲ	1			1			
	工学実験・実習Ⅰ	2		2				
	工学実験・実習Ⅱ	2			2			
	総合情報工学Ⅱ	1		1				
	総合情報工学Ⅲ	1			1			
	ソフトウェア概論Ⅰ	1		1				
	ソフトウェア概論Ⅱ	1			1			
	コンピュータ概論Ⅰ	1		1				
	コンピュータ概論Ⅱ	1			1			
	ソフトウェア演習Ⅰ	1		1				
	ソフトウェア演習Ⅱ	2			2			
	デジタル・アプリケーションⅠ	1		1				
	デジタル・アプリケーションⅡ	1			1			
	電気・電子回路Ⅰ	2			2			
組込みシステム概論	1			1				
データサイエンス概論	1			1				
情報数学Ⅰ	1			1				
履修単位数			0	8	14	0	0	
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1					1	
	総合工学Ⅳ	1					1	
	工学実験・実習Ⅲ	3					3	
	工学実験・実習Ⅳ	2						2
	総合情報工学Ⅳ	1					1	
	応用物理Ⅱ	2				2 <sup>(-)</sup>		
	信号処理	2					2	
	情報ネットワーク	1						1
	数値解析	2				2 <sup>(-)</sup>		
	論理回路	2				2 <sup>(-)</sup>		
	計測工学	1						1
	工業英語Ⅰ	1					1	
	工業英語Ⅱ	1					1	
	情報理論	2				2 <sup>(-)</sup>		
	ソフトウェア構成論	2				2		
	情報セキュリティ	2				2 <sup>(-)</sup>		
	組込みシステム応用	2				2 <sup>(-)</sup>		
	IoTシステム	1						1
データベース応用	1					1		
ソフトウェア演習Ⅳ	2						2	
ソフトウェア開発	2						2 <sup>(-)</sup>	
電気・電子回路Ⅱ	1					1		
ソフトウェア演習Ⅲ	2					1		
計算機構成論	1					2		
システム制御	2						2 <sup>(-)</sup>	
履修単位数			0	0	0	26	14	
選択科目	生産工学	1					1 <sup>(-)</sup>	
	制御工学	2					2	
	情報数学Ⅱ	2					2 <sup>(-)</sup>	
	ロボット工学	1						1
	コンピュータビジョン	2						2 <sup>(-)</sup>
	デジタル通信	2						2 <sup>(-)</sup>
履修可能単位数			0	0	0	4	6	

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

創造工学科 (化学・生物コース)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数				
			1年	2年	3年	4年	5年
必修科目 (主要基礎科目)	総合工学Ⅱ	1	1				
	総合工学Ⅲ	1		1			
	工学実験・実習Ⅰ	2	2				
	工学実験・実習Ⅱ	2		2			
	総合情報工学Ⅱ	1	1				
	総合情報工学Ⅲ	1		1			
	分析化学	2	2				
	無機化学Ⅰ	2		2			
	有機化学Ⅰ	2		2			
	物理化学Ⅰ	2		2			
	基礎生物学Ⅰ	1	1				
	基礎生物学Ⅱ	1		1			
	化学工学Ⅰ	1		1			
	物質化学実験Ⅰ	1	1				
物質化学実験Ⅱ	2		2				
履修単位数			0	8	14	0	0
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1				1	
	総合工学Ⅳ	1				1	
	工学実験・実習Ⅲ	3				3	
	工学実験・実習Ⅳ	2					2
	総合情報工学Ⅳ	1				1	
	応用物理Ⅱ	2				2*(-)	
	物理化学Ⅱ	2				2	
	機器分析	2				2*(-)	
	無機化学Ⅱ	2				2	
	有機化学Ⅱ	2				2	
	生物化学	2				2	
	環境とエネルギー	1					1
	工業英語Ⅰ	1				1	
	工業英語Ⅱ	1					1
	材料化学	2				2*(-)	
	化学工学Ⅱ	2				2	
	計測制御	2					2*(-)
	生物工学基礎	1				1	
	外国語雑誌会	1					1
	有機材料化学	1					1
	電気化学	1					1
	地球環境科学	1					1
	無機材料化学	2					2*(-)
応用有機化学	2					2*(-)	
生物物理化学	2					2*(-)	
分子生物学	2					2*(-)	
物質化学実験Ⅲ	1				1		
履修単位数			0	0	0	25	18
選択科目	半導体工学	1					1*(-)
	薬学概論	1					1*(-)
	生産工学	1					1*(-)
履修可能単位数			0	0	0	1	2

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

創造工学科 (デジタルデザインコース機械系)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数				
			1年	2年	3年	4年	5年
必修科目 (主要基礎科目)	総合デジタルデザイン工学Ⅱ	1	1				
	総合デジタルデザイン工学Ⅲ	1		1			
	デジタルデザイン応用工学Ⅱ	1	1				
	デジタルデザイン応用工学Ⅲ	1		1			
	デジタルデザイン実践工学Ⅱ	2	2				
	デジタルデザイン実践工学Ⅲ	2		2			
	工学実験・実習Ⅰ	2	2				
	工学実験・実習Ⅱ	2		2			
	機械製図	2	2				
	材料力学Ⅰ	2		2			
	情報処理Ⅰ	1	1				
	情報処理Ⅱ	1		1			
	電気基礎Ⅰ	1	1				
	電気基礎Ⅱ	1		1			
材料学Ⅰ	2		2				
工業力学	2		2				
履修単位数			0	10	14	0	0
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1				1	
	総合デジタルデザイン工学Ⅳ	1				1	
	デジタルデザイン応用工学Ⅳ	1				1	
	デジタルデザイン実践工学Ⅳ	2				2	
	デジタルデザイン実践工学Ⅴ	2					2
	工学実験・実習Ⅲ	3				3	
	工学実験・実習Ⅳ	2					2
	情報処理Ⅲ	1				1	
	材料学Ⅱ	1				1	
	応用物理Ⅱ	2				2*(-)	
	材料力学Ⅱ	2				2*(-)	
	機械力学Ⅰ	1				1	
	機械力学Ⅱ	1				1*(-)	
	機械要素設計	2				2*(-)	
	熱力学	2				2	
	水力学	2				2	
	機構学	1				1	
	電子回路	1				1*(-)	
	制御工学Ⅰ	2				2*(-)	
	制御工学Ⅱ	2				2*(-)	
	数値解析	1				1*(-)	
	熱力学演習	1				1	
	水力学演習	1				1	
工業英語	1				1*(-)		
メカトロニクス	1				1*(-)		
機械設計製図Ⅰ	4				4		
機械設計製図Ⅱ	3					3	
履修単位数			0	0	0	29	15
選択科目	デジタルデザイン実践工学Ⅰ	1	1				
	生産工学	1				1*(-)	
	精密加工学	1				1*(-)	
	エネルギー変換工学	1				1*(-)	
履修可能単位数			1	0	0	0	3

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

創造工学科 (デジタルデザインコース電気・電子系)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数				
			1年	2年	3年	4年	5年
必修科目 (主要基礎科目)	総合デジタルデザイン工学Ⅱ	1	1				
	総合デジタルデザイン工学Ⅲ	1		1			
	デジタルデザイン応用工学Ⅱ	1	1				
	デジタルデザイン応用工学Ⅲ	1		1			
	デジタルデザイン実践工学Ⅱ	2	2				
	デジタルデザイン実践工学Ⅲ	2		2			
	工学実験・実習Ⅰ	2	2				
	工学実験・実習Ⅱ	2		2			
	プログラミング演習	1	1				
	情報処理Ⅰ	1	1				
	情報処理Ⅱ	1		1			
	電気回路Ⅰ	2	2				
	電気回路Ⅱ	2		2			
	電気磁気学Ⅰ	2		2			
電気機器Ⅰ	1		1				
電子工学	2		2				
電気電子計測	2		2				
履修単位数			0	10	16	0	0
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1				1	
	総合デジタルデザイン工学Ⅳ	1				1	
	デジタルデザイン応用工学Ⅳ	1				1	
	デジタルデザイン実践工学Ⅳ	2				2	
	デジタルデザイン実践工学Ⅴ	2					2
	工学実験・実習Ⅲ	3				3	
	工学実験・実習Ⅳ	2					2
	応用物理Ⅱ	2				2*(-)	
	情報処理Ⅲ	1				1	
	電気回路Ⅲ	1				1	
	電気回路演習	1				1	
	電気磁気学Ⅱ	2				2	
	電気磁気学演習	1				1	
	電気機器Ⅱ	2				2*(-)	
	電気電子材料	2				2	
	電気電子製図	2				2	
	情報通信	1				1	
	デジタル回路	2				2*(-)	
	電子回路	2				2*(-)	
	電子回路演習	1				1	
	発変電工学	2					2
	送配電工学	2					2*(-)
	電気法規及び電気施設管理	1					1
制御工学	2					2*(-)	
ネットワーク演習	1					1*(-)	
パワーエレクトロニクス	1					1*(-)	
工業英語	1					1*(-)	
履修単位数			0	0	0	28	14
選択科目	デジタルデザイン実践工学Ⅰ	1	1				
	デジタル信号処理	2				2*(-)	
	高電圧工学	2				2*(-)	
	電子回路設計	1				1*(-)	
	電気機器設計	1				1*(-)	
	マイクロコンピュータ	2				2*(-)	
	電気応用	2				2*(-)	
	計算機工学	2				2*(-)	
	生産工学	1				1*(-)	
履修可能単位数			1	0	0	4	9

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である

専門科目

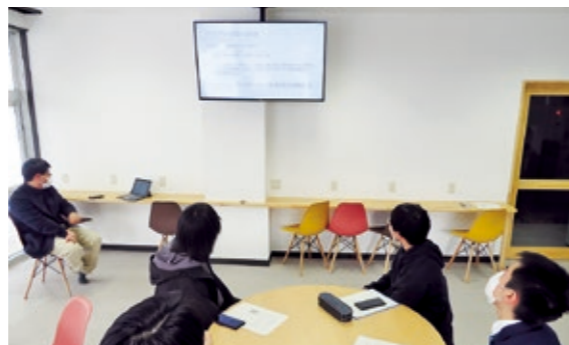
創造工学科 (デジタルデザインコース情報系)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数				
			1年	2年	3年	4年	5年
必修科目 (主要基礎科目)	総合デジタルデザイン工学Ⅱ	1	1				
	総合デジタルデザイン工学Ⅲ	1		1			
	デジタルデザイン応用工学Ⅱ	1	1				
	デジタルデザイン応用工学Ⅲ	1		1			
	デジタルデザイン実践工学Ⅱ	2	2				
	デジタルデザイン実践工学Ⅲ	2		2			
	工学実験・実習Ⅰ	2	2				
	工学実験・実習Ⅱ	2		2			
	ソフトウェア演習Ⅰ	1	1				
	ソフトウェア演習Ⅱ	2		2			
	デジタル・アプリケーションⅠ	1	1				
	デジタル・アプリケーションⅡ	1		1			
	ソフトウェア概論Ⅰ	1	1				
	ソフトウェア概論Ⅱ	1		1			
コンピュータ概論Ⅰ	1	1					
コンピュータ概論Ⅱ	1		1				
電気・電子回路Ⅰ	2		2				
組込みシステム概論	1		1				
データサイエンス概論	1		1				
情報数学Ⅰ	1		1				
履修単位数			0	10	16	0	0
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1				1	
	総合デジタルデザイン工学Ⅳ	1				1	
	デジタルデザイン応用工学Ⅳ	1				1	
	デジタルデザイン実践工学Ⅳ	2				2	
	デジタルデザイン実践工学Ⅴ	2					2
	工学実験・実習Ⅲ	3				3	
	工学実験・実習Ⅳ	2					2
	応用物理Ⅱ	2				2*(-)	
	情報処理Ⅲ	1				1	
	電気回路Ⅲ	1				1	
	電気回路演習	1				1	
	電気磁気学Ⅱ	2				2	
	電気磁気学演習	1				1	
	電気機器Ⅱ	2				2*(-)	
	電気電子材料	2				2	
	電気電子製図	2				2	
	情報通信	1				1	
デジタル回路	2				2*(-)		
電子回路	2				2*(-)		
電子回路演習	1				1		
発変電工学	2					2	
送配電工学	2					2*(-)	
電気法規及び電気施設管理	1					1	
制御工学	2					2*(-)	
ネットワーク演習	1					1*(-)	
パワーエレクトロニクス	1					1*(-)	
工業英語	1					1*(-)	
履修単位数			0	0	0	28	16
選択科目	デジタルデザイン実践工学Ⅰ	1	1				
	生産工学	1				1*(-)	
	制御工学	2				2	
	情報数学Ⅱ	2				2*(-)	
	ロボット工学	1				1	
	コンピュータビジョン	2				2*(-)	
	デジタル通信	2				2*(-)	

専門科目  
創造工学科 (デジタルデザインコース化学・生物系)

区分	授業科目	単位数	学年別履修単位数					
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目 (主要基礎科目)	総合デジタルデザイン工学II	1		1				
	総合デジタルデザイン工学III	1			1			
	デジタルデザイン応用工学II	1		1				
	デジタルデザイン応用工学III	1			1			
	デジタルデザイン実践工学II	2		2				
	デジタルデザイン実践工学III	2			2			
	工学実験・実習I	2		2				
	工学実験・実習II	2			2			
	分析化学	2		2				
	物理化学I	2			2			
	無機化学I	2			2			
	有機化学I	2			2			
	化学工学I	1			1			
	基礎生物学I	1		1				
	基礎生物学II	1			1			
物質化学実験I	1		1					
物質化学実験II	2			2				
履修単位数		0	10	16	0	0		
必修科目 (主要科目)	総合工学ゼミ	1				1		
	総合デジタルデザイン工学IV	1				1		
	デジタルデザイン応用工学IV	1				1		
	デジタルデザイン実践工学IV	2				2		
	デジタルデザイン実践工学V	2					2	
	工学実験・実習III	3				3		
	工学実験・実習IV	2					2	
	応用物理II	2				2*(-)		
	物理化学II	2				2		
	機器分析	2				2*(-)		
	無機化学II	2				2		
	有機化学II	2				2		
	環境とエネルギー	1					1	
	工業英語I	1				1		
	工業英語II	1					1	
	材料化学	2				2*(-)		
	化学工学II	2				2		
	生物工学基礎	1				1		
	外国語雑誌会	1					1	
	有機材料化学	1					1	
	電気化学	1					1	
地球環境科学	1					1		
物質化学実験III	1				1			
生物化学	2				2			
計測制御	2					2*(-)		
履修単位数		0	0	0	27	12		
選択科目	デジタルデザイン実践工学I	1	1					
	半導体工学	1				1*(-)	1*(-)	
	薬学概論	1				1*(-)		
	生産工学	1					1*(-)	
	無機材料化学	2					2*(-)	
	応用有機化学	2					2*(-)	
	生物物理化学	2					2*(-)	
分子生物学	2					2*(-)		
履修可能単位数		1	0	0	1	10		

\*印は学則第13条3項に基づく学修単位  
\*(-)は講義、\*(二)は演習、ゼミ、\*(三)は実験、実習である



デジタルサロンでの発表風景



学習・交流ラウンジ



校内コンビニの文房具コーナー



情報演習室2



新設された国際寮の交流スペース

7. 専攻科

Department of Advanced Engineering Course



生産システム工学専攻 Production System Engineering

専攻科は、本科5年間の高専教育を基礎とし、さらに2年間、大学と同等レベルの専門的な技術者教育を行う教育課程として平成15年4月に設置され、平成27年4月に現在の1専攻3コース制となりました。

専攻科の教育課程では、一つのテーマについて2年間継続して取り組み、その成果を地域企業参加型の専攻科研究発表会や国内外の学術講演会、学術論文等で発表する専攻科研究を行います。また、他のコースの基礎的な専門知識や技術を同時に学び、広範な融合複合技術と柔軟な思考力を養います。さらに、チームワークによる課題解決型のエンジニアリングデザイン科目やインターンシップ、外部講師が先端技術を紹介する総合技術論等、特色のあるカリキュラム編成を行っています。

専攻科を修了することで、大学改革支援・学位授与機構から、大学工学部卒と同等の学士(工学)の学位が授与されます。したがって、専攻科を修了した学生は、大学院への進学も可能です。

専攻科では、右記に示した4項目の能力の修得を目標として掲げており、あらゆる分野の生産システムに関わる技術的課題に対応でき、幅広い知識を統合した構想力や対応力に優れ、かつ国際的に活躍できるコミュニケーションスキルを身につけた人材育成を目指します。

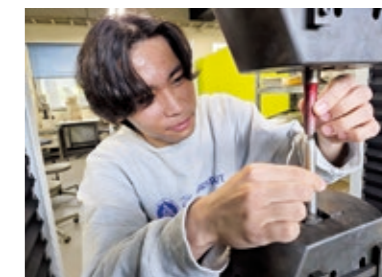
3つのコースでは、それぞれの専門分野の高度な知識を習得し、システムや新素材等の設計や開発技術能力を持った実践的開発型技術者を育成します。

1. 多様な価値観を理解できる協働性を持ち、世界的視野で物事を考えることができる能力
2. 社会や自然に関わる科学的知識、融合複合分野に関する基礎的知識および専門分野における基盤知識を活用できる能力
3. 科学技術分野における諸課題について、主体的に計画して取り組み、知識を統合・発展させて解決できる能力
4. 論理的な思考力、記述力、成果発表と議論の能力及び国際的コミュニケーション能力

機械・制御コース Course of Mechanical and Control Engineering

機械や材料、エネルギー、計測・制御等の分野についての教育研究を行い、各種機械、ロボット、制御機器等を資源や環境にも配慮して開発できる能力を養います。

学位申請における専攻区分は「機械工学」で、設計系、制御系、材料系の科目を中心に履修します。

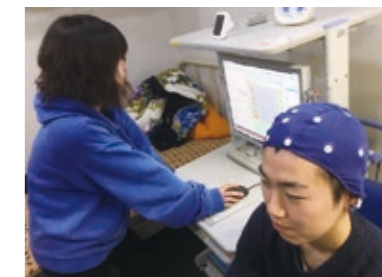


専攻科実験 機械分野

電気電子・情報コース Course of Electric, Electronics and Information Engineering

社会基盤の構築に重要なパワーエレクトロニクス、エネルギー変換工学、半導体工学、通信工学、情報ネットワーク、プログラミング言語、アルゴリズムなどの専門知識を系統的かつ有機的に修得します。さらに、ICT、IoTを活用した社会システムや、資源や環境に配慮した新規電子材料を開発できる能力を養います。

学位申請における専攻区分は「電気電子工学」で、システム系、通信系、情報系の科目を中心に履修します。



脳電位のサンプリングと成分解析

応用化学コース Course of Applied Chemistry

化学や材料を中心にエネルギー、環境、生物に至るまで、応用化学コースの教育研究の分野は多岐にわたります。新素材や機能性材料、医薬品や農業等の化学物質などを、資源や環境に配慮して開発できる能力を養います。

学士申請における専攻区分は「応用化学」で、化学系、材料系、生物系の科目を中心に履修します。



専攻科研究

一般科目・共通専門科目（各コース共通）

区分	必修 選択の別	授業科目	単位数	学年・学期別割当				備考	
				1年		2年			
				前期	後期	前期	後期		
一般科目	必修科目	総合実践英語Ⅰ	2	2					
		総合実践英語Ⅱ	2		2				
		小計	4	2	2				
	選択科目	哲学的人間論	2		2			1科目以上 修得すること	
		環境社会学	2		2				
		日本学特論	2				2		
	小計	6		4		2			
	開設単位合計			10	2	6	2		
	専門科目	必修科目	総合技術論	2	2				3科目以上 修得すること
			実践的デザイン工学実習	2	2				
応用代数			2	2					
物理学特論			2		2				
創造工学実習			2	1	1				
技術者倫理			2		2				
専攻科研究Ⅰ			8	4	4				
専攻科研究Ⅱ			8			4	4		
専攻科実験			2	2					
小計		30	13	9	4	4			
必修選択科目		インターンシップ	2	2				どちらかを必ず 修得すること	
		長期インターンシップ	3~4	3~4					
		応用解析特論	2		2			3科目以上 修得すること	
		固体物理学	2				2		
		データ解析	2	2					
		経営工学	2			2			
		数値計算	2	2					
	安全工学	2			2				
学際融合研究	2				2				
小計	16以上	16以上							
開設単位合計			46以上	19以上	11以上	8以上	8以上		

機械・制御コース（MCコース）

必修 選択の別	授業科目	単位数	学年・学期別割当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修科目	実践電気電子工学	2			2		関連科目
	材料科学	2			2		関連科目
	材料力学特論	2	2				
	流体機械	2		2			
小計	8	2	2	4			
選択科目	材料設計学	2	2				5科目以上 修得すること
	塑性加工学	2				2	
	応用機構学	2		2			
	センサ工学	2		2			
	制御工学特論	2				2	
	設計工学	2				2	
システム計画学	2				2		
小計	14	2	4	8			
開設単位合計			22	4	6	4	8

電気電子・情報コース（EIコース）

必修 選択の別	授業科目	単位数	学年・学期別割当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修科目	基礎工業力学	2			2		関連科目
	材料科学	2			2		関連科目
	集積回路設計	2	2				
	データサイエンス	2		2			
小計	8	2	2	4			
選択科目	シミュレーション工学	2			2		5科目以上 修得すること
	電磁気応用工学	2			2		
	伝送システム工学	2		2			
	信号処理特論	2			2		
	センサ工学	2		2			
	計算機システム	2				2	
	応用コンピュータグラフィクス	2		2			
システム計画学	2				2		
小計	16		6	6	4		
開設単位合計			24	2	8	10	4

応用化学コース（ACコース）

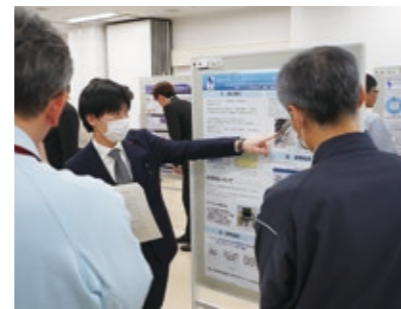
必修 選択の別	授業科目	単位数	学年・学期別割当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修科目	実践電気電子工学	2			2		関連科目
	基礎工業力学	2			2		関連科目
	工業分析化学	2	2				
	高分子材料化学	2		2			
小計	8	2	2	4			
選択科目	構造有機化学	2	2				5科目以上 修得すること
	生物資源利用化学	2			2		
	反応速度論	2				2	
	応用電気化学	2		2			
	生物機能工学	2				2	
	環境化学	2		2			
ゲノム工学	2				2		
小計	14	2	4	2	6		
開設単位合計			22	4	6	6	6



実践的デザイン工学実習  
(フィールドワーク集合写真)



実践的デザイン工学実習（地域プロポーザル）



—地域企業参加型— 専攻科1年生研究発表会

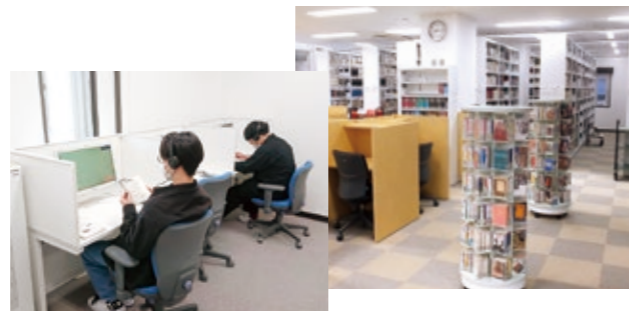
## 8. 図書館 (図書広報室) Library (Library & Public Relations Office)

図書館 (図書広報室) では、図書の閲覧・帯出 (貸し出し) や、CDやDVD等の視聴覚資料を視聴できるメディアルームの利用が可能です。また、読書や自学自習等に利用できる、個人用閲覧席も約40席設置されています。

開館時間 平日 8時30分～19時  
土曜日 9時～17時

※学生の長期休業期間中は、平日8時30分～17時のみ開館

閉館日 日曜日、祝祭日等  
長期休業期間中の土曜日、学校行事日



### 蔵書数 Collection of Books (vols.)

令和8年5月1日現在

区分 分類	図書(冊数)			購入雑誌(種類数)		
	和書	洋書	合計	和文	欧文	合計
総記	3,231	168	3,399	1	0	1
哲学	2,790	149	2,939	1	0	1
歴史	4,523	195	4,718	0	0	0
社会科学	5,245	198	5,443	0	0	0
自然科学	11,562	2,673	14,235	4	0	4
工学	13,359	629	13,988	6	0	6
産業	641	3	644	1	0	1
芸術	2,387	29	2,416	10	0	10
語学	2,731	527	3,258	1	0	1
文学	9,660	1,144	10,804	1	0	1
合計	56,129	5,715	61,844	25	0	25

### 利用状況 Using of Library

令和7年度

開館日数	262日
学生貸出人数	1,368人
学生貸出冊数	2,304冊
学生1人平均	2冊/人
入館者数	24,532人
入館者平均	94人/日

## 9. 情報メディアセンター Information Media Center

情報メディアセンターは、本校の共通施設として運用されています。情報演習室には、パソコンや3Dプリンタなどの設備が設置され、情報リテラシー教育やプログラミングなどの授業 (実習) で使用しています。昼休みや放課後等の授業で使用していない時間は、学生は自由にPCを使用することが可能です。

その他にも、学生が自由にPC等を持ち込んで利用可能なデジタルサロンなどが設置されているほか、ノートパソコンの貸し出しサービスなども行っています。

開館時間 平日 8時30分～18時45分  
閉館日 土日祝祭日、長期休業期間、  
学校行事日



## 10. 教育研究技術支援センター Technical Support Center

教育研究技術支援センターは、教育研究支援体制の強化を目的として平成21年1月1日に発足した組織です。センター長及び技術職員で構成されており、教育研究のための技術開発や試作、分析など技術業務全般に関すること、実験・実習施設における機材等の安全管理、ICT活用教育や教育用及び業務用情報システム運用管理支援、加えて地域に根差した“ものづくり講座”の開催など、高等教育機関としての高専において教育研究の一翼を担うべく広範囲な支援活動を行っています。

技術職員は、機械・電気・電子・情報、化学・生物系それぞれの分野で実践的かつ高度な知識を有しています。さらに、昨今の技術発展をキャッチアップするため、学会、技術発表会、各種研修会、資格取得などを通じた自己研鑽や外部資金獲得などに努めています。



## 11. 保健センター Health Center

保健センターは、健診や調査の実施、各種相談の受付、様々な支援の検討・立案、また、外部専門機関と連携等を通して、学生及び教職員の心身の健康維持・増進を図り、修学や就業の健全性を保持することを目的としています。

### 保健室 Health Care Room

学生・教職員の健康管理を担当。学校保健計画の立案や健康診断の実施、不測の疾病及び傷害への対応を行います。

### 相談室 Counselling Room

学生・教職員に対する相談活動や支援活動、メンタルヘルスケアに関する啓発活動を行います。スクールカウンセラー等によるカウンセリングと教育相談を行っています。

【相談活動の内容】

- 学生の学校生活に関する相談
- 学生の家庭環境に関する相談
- 教職員の就業環境に関する相談
- 学生及び教職員のハラスメントに関する相談

■時間/平日8時30分～17時

- 担当/スクールカウンセラー (公認心理師) 毎週水曜日 14時～17時 (オンライン)
- スクールカウンセラー (臨床心理士) 毎週木曜日 14時～17時 (オンライン)
- スクールソーシャルワーカー (社会福祉士) 毎週火曜日・水曜日 14時～17時 (対面)
- スクールソーシャルワーカー (社会福祉士) 毎週木曜日・金曜日 14時～17時 (対面)
- 精神科医 毎月1回 15時～17時 (対面・要予約)
- 相談員 (特別支援教育士) 毎週月曜日 14時～17時 (対面)
- 相談員 (学内保健センター員) 随時



## 12. 国際交流 International Exchanges

### 国際交流支援室 International Affairs Office

国際交流支援室は、海外教育機関との学術協定の締結およびそれに基づく交流の実施、日本人学生の留学支援、海外協定校からの留学生の受入などを主な役割として、2009年9月に設置されました。学内外における多様な異文化コミュニケーションの機会を幅広く提供することにより学生の国際交流を促進し、グローバルな社会において主体的に活躍する人材の育成を支援しています。

### 海外教育機関との学術交流協定 Academic Agreements

(2026年5月1日現在)

国	協定先機関名
フランス	リールA技術短期大学 アルトワ大学
フィンランド	トゥルク応用科学大学 ヘルシンキメトロポリタ応用科学大学
タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校 泰日工業大学
シンガポール	5ポリテクニク
ベトナム	電力大学 ハノイ産業大学 フエ工業短期大学 ハノイ工科大学機械工学校 ホーチミン工科大学 ホーチミン市天然資源環境大学
マレーシア	マレーシア科学大学化学サイエンス校
台湾	国立聯合大学 長庚大学
モンゴル	モンゴル高専連盟
オーストラリア	ニューカッスル大学
ニュージーランド	ワンガヌイ地区評議会及び ユニバーサルカレッジオブラーニング
アメリカ	レッドロックス・コミュニティカレッジ

### 短期留学生の受入 Accepting Students

海外協定校から短期留学生を受入しています。留学生は滞在期間中、配属先の研究室での研究活動に加え、日本文化体験や本校学生との交流に参加します。本校学生はチューターとして研究・生活面の支援を行うほか、ウェルカムパーティーなどの交流イベントを企画・実施することで、双方の学生にとって有意義な異文化交流の機会となっています。これらの交流は、本校学生の海外への関心を高めるとともに、留学へと踏み出す一助にもなっています。

#### 《国別 受入実績》

国・地域	2023年度	2024年度	2025年度
フィンランド	1	2	0
フランス	1	0	1
タイ	1	0	1
台湾	2	0	0
合計	5	2	2



留学説明会・報告会の様子



留学中の一コマ(タイ・研修派遣)



現地学生と一緒に(シンガポール・研修派遣)



Welcome Partyにて自国の紹介をする留学生



フランス・タイからの短期留学生(書道体験)

### 学生の海外派遣 Sending Students

本校では多彩な留学プログラムを提供しており、夏季・春季の長期休暇を利用して多くの学生が海外留学を経験しています。

プログラム内容は、英語による授業や現地学生との交流を中心とした研修派遣、海外協定校の研究室で研究実習を行う研究派遣、海外企業での就業体験を行うインターンシップ派遣など、多岐にわたります。さらに、他高専等が募集するプログラムにも参加可能で、学生は自身の目的や関心に応じて最適な留学先を選択できます。

また、留学支援の一環として奨学金の獲得にも積極的に取り組んでおり、本校独自の助成金に加え、日本学生支援機構(JASSO)などの奨学金を活用することで、留学費用の一部を支援しています。

2025年度には、ニュージーランドにおける企業インターンシップ派遣を新たに開始したほか、研究派遣および研修派遣にも多くの学生が参加しました。今後も、本校は学生の海外挑戦を積極的に支援していきます。

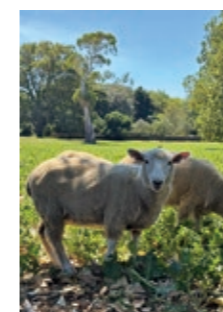
#### 《2025年度 派遣実績》

プログラム形態	国・地域	期間	派遣人数
企業インターンシップ	ニュージーランド	3~4週間	3
研修派遣	ニュージーランド	22日間	16
	シンガポール	15日間	26
	タイ	5日間	5
研究派遣	ベトナム	2~3週間	5
	マレーシア	3週間	2
	タイ	2週間	3
機構本部・他高専主催研修派遣	シンガポール	2週間	1
	フィンランド	1週間	1
	シンガポール	1週間	2

※実施する派遣プログラムは年度により異なります。

#### 《学年別 派遣実績》

学年	2023年度	2024年度	2025年度
1年	0	5	8
2年	25	14	8
3年	13	24	27
4年	7	7	8
5年	2	7	5
専攻科	3	1	8
合計	50	58	64



留学プログラム、活動報告などの詳細は国際交流支援室のホームページに掲載しています。

国際交流支援室  
ホームページは  
こちらから！



ニュージーランド企業インターン中の一コマ



留学中の一コマ(ベトナム・研究派遣)



研究活動の様子(シンガポール・研究派遣)



授業風景(ニュージーランド・研修派遣)



留学中の一コマ(ニュージーランド・研修派遣)

## 13. 地域連携センター Regional Partnership Center

### 地域連携センターの活動 Activities of Regional Partnership Center

当センターは、地域企業・大学・自治体との技術・研究交流により地域社会の発展に寄与するとともに、地域との連携を通じて本校の教育研究の充実、発展に資する役割を担っています。鶴岡高専の研究成果や技術を役立てられるよう活動に取り組んでおります。

### 地域との連携 Cooperation with Local Community

本校教員および民間企業や学術機関からお招きした方を講師として、市民をはじめとした地域の方々に学術情報提供を行うフォーラムやセミナー等のイベントを企画運営しております。また、外部からの要請に基づいたイベント等にも参加し、積極的に地域貢献活動にも取り組んでおります。技術教育としては、公開講座や実験教室、その他の講習会などで、教職員と学生が専門分野や基礎専門分野において協力いたします。



子ども科学実験教室

#### 2025年度開催 訪問実験など

No	実施日	実施場所・イベント	テーマ等
1	6月7日	実施：鶴岡高専 依頼：鶴岡市理科教育センター	面白科学実験教室
2	6月19日	鶴岡市立朝陽第四小学校	理科クラブへの連携
3	7月3日	鶴岡市立朝陽第四小学校	理科クラブへの連携
4	7月4日	鶴岡市立榊引中学校	「授業タイトル：地域学習プレゼンテーションに向けた演習」へのタイアップ企画
5	7月7日	山形市立第八中学校	野菜の中に含まれるDNA
6	7月11日	鶴岡市立温海中学校	パズルを作ってみよう！
7	7月17日	鶴岡市立朝陽第四小学校	理科クラブへの連携
8	7月22日	村山市立橋岡中学校	スライムカーボン電池
9	7月22日	庄内町立立川中学校	生分解性アクセサリー
10	7月23日	鶴岡市立鶴岡第五中学校	酵素の働きと性質について
11	7月28日	山形県立致道館中学校	虹色の輝く高分子液晶/水のマイクロスケール分解/酢酸ナトリウムの結晶化
12	8月1日	鶴岡市陽光児童館	スライムからスーパーボール
13	8月2日	鶴岡市大山児童館	カラフルな人エイクラ
14	8月4日	鶴岡市中央児童館	水中マジックカード
15	8月5日	鶴岡市鶴岡南部児童館	スライムからスーパーボール
16	8月7日	鶴岡市西部児童館	生分解性アクセサリー
17	8月19日	金山町立金山中学校	ルミノール化学発光について
18	8月20日	実施：山形市立第五中学校 依頼：山形市立第八中学校	オリジナル4テーマ他
19	8月29日	鶴岡市立温海中学校	比重を体験してみよう！
20	8月30日	尾花沢・大石田 少年少女発明クラブ	温度で色が変化する人エイクラ/UV蓄光ビーズ/レインボースコープ
21	9月12日	河北町立河北中学校	オリジナルレインボースコープ
22	9月26日	鶴岡市立温海中学校	発砲入浴剤を作ってみよう！
23	10月4日	酒田市総合文化センター	カラフルビーズ作り/電気を作って電気で遊ぼう
24	10月10日	鶴岡市立温海中学校	サンキャッチャーやじろべいを作ってみよう！
25	10/18・19	つるおか大産業まつり2025	ライトレースロボットで遊ぼう(機械)/電気を作って、電気で遊ぼう！！(電気・電子)/カラフルスライム作りチャレンジ！(化学・生物)
26	11月1日	鶴岡サイエンスパークまつり2025	みんなで工作するミニチュアの町で、ロボットを操縦しよう
27	11月9日	エスマール	発砲入浴剤をつくってみよう！
28	11月9日	湯田川コミュニティセンター	要配慮者デバイス展示
29	11月15日	三川少年少女発明クラブ	あら不思議！うまれる電気・つながる電気
30	12/6～7	鶴岡高専 櫻庭研究室	ロボットプログラミングの体験
31	12月7日	イオンモール三川	サンキャッチャーやじろべいを作ってみよう！
32	12月24日	荘銀タクト鶴岡	惑星探査車の操縦体験
33	1/10・11	鶴岡高専 櫻庭研究室	ロボットプログラミングの体験
34	2月7日	藤島地区青少年育成協議会 藤島地区自治振興会	簡易地震感知LEDライトを作ってみよう！
35	2月14日	鶴岡市中央児童館	ICTロボット体験会
36	3月4日	鶴岡市立鶴岡第四中学校	中学生に科学の魅力を伝える

#### 学術交流協定締結状況（最近10年間）

締結年月	協定締結機関
H27.2.5	東北公益文科大学
H27.3.1	長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、九州工業大学、北陸先端科学技術大学院大学
H28.1.21	慶應義塾大学（総合政策学部・環境情報学部）
H28.12.6	学校法人岩崎学園 情報セキュリティ大学院大学
H30.9.20	学校法人天真林昌学園 酒田南高等学校

その他協定締結機関一覧

東北大学大学院医工学研究科、東北大学大学院（工学研究科、情報学研究科、環境科学研究科）、山形大学農学部、山形大学工学部・山形大学大学院理工学研究科

#### 産学官連携協力推進に係る協定締結状況（最近10年間）

締結年月	協定締結機関
H27.7.17	鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町
H29.9.29	株式会社きらやか銀行 きらやかコンサルティング&パートナーズ株式会社
H30.12.14	株式会社山形銀行
H31.3.20	全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形）
R1.7.8	東北エプソン株式会社
R3.3.9	山形県最上総合支庁
R3.3.30	メディア総研株式会社
R5.9.21	株式会社野村総合研究所
R5.11.7	山形大学農学部・東北公益文科大学・株式会社荘内銀行

その他協定締結機関一覧

商工組合中央金庫山形支店、商工組合中央金庫酒田支店、鶴岡信用金庫、山形県商工観光部

### 研究活動 Research Activities

本校は、共同研究、受託研究、奨学寄附金、技術相談、卒業研究テーマ受入の制度により、外部と連携した研究活動の実施を推進しています。また、190件を超える企業等にご加入いただいている鶴岡高専技術振興会のご支援を受けて、地域産業界との連携、および、研究教育機能の充実化を図っています。学内では、教員の研究力向上を目的に科研費獲得セミナー等を開催し、研究費の自立化を支援しています。

#### ■鶴岡高専技術振興会

鶴岡高専と地域産業界との連携を促進し、また、鶴岡高専の研究教育機能の充実支援を目的に、企業や市民を対象としたフォーラムの開催や鶴岡高専の研究活動に対する情報の提供などの各種事業の支援いただいています。

#### ■K-ARC (Kosen-Applied science Research Center)

鶴岡市サイエンスパーク内に、K-ARCを設置し、鶴岡サイエンスパーク関連機関をはじめとする学外研究連携の拠点として機能します。また、全国高専との研究ネットワーク構築を支援し、研究活動の推進に取り組んでいます。

#### ■大学発新産業創出基金 スタートアップ・エコシステム共創プログラム (MASP)

令和6年度より、科学技術振興機構 (JST) によるMASP事業に参画し、東北と新潟の大学や高専との相互作用を生み出し、社会変革の原動力となる新たなスタートアップ教育の創出に向けて活動しています。本プログラムの専任のコーディネーターを中心に、企業のニーズと本校の技術マッチングを促進させ、起業家の創出に向けた本プログラムの活動に取り組んでいます。

#### ■東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム (T-Seeds)

令和6年度より、T-Seedsの活動に参画しています。T-Seedsでは、東北地域の半導体等関連産業の人材の裾野拡大や基盤強化・発展に向けて半導体の重要エリアになるべく活動を推進しています。

#### ■鶴岡ガストロノミックイノベーション計画

令和8年度より、鶴岡ガストロノミックイノベーション計画に参画することになりました。これは、「ユネスコ食文化創造都市」である鶴岡市に新たな食産業を創出する内閣府認定プロジェクトです。山形大学と慶應義塾大学、企業との連携を通じて技術開発を行います。

## 14. 教員の研究活動 Research Activities

### 在外研究員 Overseas Research Personnel

(最近3年間)

年度	氏名	所属	研究期間	受入機関	研究題目
R5	(実績なし)				
R6	伊藤 滋 啓	創造工学科 (化学・生物コース)	R6.4.8 ～ R7.3.25	(オーストラリア) クイーンズランド大学	オペランドマイクロアナリシス と計算によるモデリングを組み 合わせた中温域 SOFC 中アノード 層内表面上の活性サイトの設計
R7	(実績なし)				

### 受賞等 Awards and Prizes

(最近3年間)

年度	氏名	所属	賞の名称(一部略称)
R5	伊藤 滋 啓	創造工学科 (化学・生物コース)	第22回山形県科学技術奨励賞
	穴戸 道 明	創造工学科 (機械コース)	日本設計工学会 学生優秀発表指導教員賞
	上 條 利 夫	創造工学科 (化学・生物コース)	日本化学会 第41回化学教育有功賞
R6	荒 船 博 之	創造工学科 (機械コース)	第23回山形県科学技術奨励賞
	Tran Huu Thang	創造工学科 (電気・電子コース)	日本工学教育協会 JSEE AWARD
	穴戸 道 明	創造工学科 (機械コース)	令和6年度国立高等専門学校教員顕彰国立高等専門学校機構理事長賞
R7	伊藤 卓 朗	創造工学科 (基盤教育グループ)	令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 科学技術振興部門
	佐藤 司	創造工学科 (化学・生物コース)	廃棄物資源循環学会 Leading Reviewers Award 2025
	高橋 聡	創造工学科 (情報コース)	令和7年度国立高等専門学校教員顕彰分野別優秀賞

### 外部資金の受入状況 Acceptance of External Funds

#### 科学研究費助成事業

(最近3年間)

研究種目名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基盤研究(B)	3	3	3
基盤研究(C)	11	8	10
若手研究	1	0	2
研究活動スタート支援	0	1	2
挑戦的萌芽研究	0	0	0
奨励研究	2	3	5

#### 外部資金

(最近3年間)

研究種目名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
共同研究	23	16	12
受託研究	12	13	12
寄附金	22	28	27
補助金・助成金	5	4	11
受託事業	1	3	2

※継続課題を含みます

## 15. 学生 Students

### 学生の定員及び現員 Quota and Actual Number

#### 本科

令和8年5月1日現在

区分	創造工学科		コース別内訳				計
	定員	現員	機 械 コ ー ス	電気・電子 コ ー ス	情 報 コ ー ス	化学・生物 コ ー ス	
第1学年	160	155 (35)					155 (35)
第2学年	160	160 (30)	38 (5)	41 (5)	45 (12)	36 (8)	160 (30)
第3学年	160	161 (39)	37 (4)	35 (4)	44 (11)	45 (20)	161 (39)
第4学年	160	167 (35)	37 (7)	35 (5)	48 (4)	47 (19)	167 (35)
第5学年	160	134 (33)	30 (4)	28 (2)	36 (15)	40 (12)	134 (33)
計	800	777 (172)	142 (20)	139 (16)	173 (42)	168 (59)	777 (172)

#### 専攻科

区分	生産システム工学専攻		コース別内訳			計
	定員	現員	機 械・制 御 コ ー ス	電気電子・情報 コ ー ス	応 用 化 学 コ ー ス	
第1学年	16	28 (6)	6 (1)	12 (2)	10 (3)	28 (6)
第2学年	16	17 (3)	3 (1)	8 (2)	6 (0)	17 (3)
計	32	45 (9)	9 (2)	20 (4)	16 (3)	45 (9)

### 志願者数、受験者数及び入学者数 Applicants, Candidates and Admissions

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	学科	創造工学科	創造工学科	創造工学科	創造工学科	創造工学科
定員		160	160	160	160	160
志願者		163 (41)	182 (35)	180 (44)	164 (33)	153 (31)
受験者		163 (41)	178 (35)	178 (44)	163 (32)	149 (31)
入学者		159 (38)	160 (34)	160 (40)	163 (32)	147 (31)
倍率		1.02	1.14	1.13	1.03	0.96

( )内は女子で内数を示す。

出身学校別学生数 Junior and Senior High School Classification of Students

出身地別学生数 Hometown Classification of Students

【内 陸】

市町村名	学校名	学 生 数					
		1	2	3	4	5	計
山形市	第一	1					2
	第二			1	1		2
	第三		1	2	1		4
	第四	1					1
	第五	1	1	2			4
	第六	2	1				3
	第七			2	1		3
	第八	1					1
	第九	1	1				2
	第十			2	2		4
	金井	1	1				2
	高橋			1			1
	山寺						0
	蔵王第一	1	1	1	1		4
蔵王第二						0	
山大附属	1	1	2	2		6	
上山市	南				1	1	
	北	1		1	1	3	
天童市	宮川					0	
	第一	2				2	
	第二					0	
	第三	1	1		1	3	
東村山郡	山辺町		2		1	3	
	中山町					1	
寒河江市	陵東南		2	2		4	
	陵西南			1	1	2	
西村山郡	大江町		2	1		3	
	藤田の丘					0	
	河北町	河	北	1	1	3	5
	西川町	西	川				0
朝日町	朝	日	1			1	
	朝	日	1			1	
村山市	榎岡	2	1	2		6	
	葉山					0	
	第一					0	
	第二			1		1	
東根市	第三				1	1	
	大富	1		1		2	
	神町	2	1			3	
	東桜学館			1		1	
尾花沢市	福原	1				1	
	尾花沢	2	2	1	2	7	
北村山郡	大石田					0	
	大石田					0	
新庄市	新庄	1	1	1	1	3	
	明倫	1	1	1	1	3	
	日新	2	1	3	2	8	
	八向					0	
最上郡	萩野学園		2		1	3	
	最上町	最	上	1	1	2	4
	舟形町	舟	形	2			2
	真室川町	真	室	川	1	1	2
最上郡	金山町	金	山	1		1	
	鮭川村	鮭	川	4		1	5
	戸沢村	戸	沢	1	1	1	2
	大蔵村	大	蔵		2		2
米沢市	第一		1	1		2	
	第二	1	3	2	1	7	
	第三	1	1			2	
	第四	4				4	

市町村名	学校名	学 生 数						
		1	2	3	4	5	計	
米沢市	第五		1				1	
	第六						0	
	第七	2					2	
南陽市	沖郷	1					1	
	赤湯	1				1	2	
	宮内	1		1			2	
東置賜郡	高畠町	高	畠	2	3	1	1	8
	川西町	川	西	1				1
長井市	南	1	1	1	1		3	
	北	1	1	4			6	
西置賜郡	小国町	小	国				0	
	白鷹町	白	鷹				0	
	飯豊町	飯	豊			3		3
内陸地区小計		27	38	37	41	28	171	

【庄 内】

市町村名	学校名	学 生 数						
		1	2	3	4	5	計	
鶴岡市	鶴岡第一	18	13	17	6	9	63	
	鶴岡第二	7	12	5	4	5	33	
	鶴岡第三	8	17	10	12	13	60	
	鶴岡第四	16	13	7	9	6	51	
	鶴岡第五	6	1	5	7	6	25	
庄内町	豊浦	1	1	3			6	
	藤島	7	9	3	7	3	29	
	羽黒	7	3	2	3	2	17	
	柳引	4	2	5	6	2	19	
	朝日	1	6		4	2	13	
	温海	4	1	2	6	2	15	
	立川	1	2	4	1	3	11	
	余目	7	6	8	7	6	34	
	三川町	三	川	6	4	4	5	25
	酒田市	第一	2	8	4	7	21	
第二		4	3	5	3	1	16	
第三		4	4	5	9	2	24	
第四		3	11	8	4	2	26	
第六		3	4	2	3	12		
鳥海八幡		1	1	4	3	2	11	
遊佐町	東部	1	2	1	4	2	10	
	(飛鳥)						0	
酒田光陵	酒	田	光	陵			1	
	酒	田	光	陵			1	
鶴岡工業	鶴	岡	工	業			1	
	鶴	岡	工	業			1	
創学館	創	学	館				1	
庄内地区小計		107	110	115	113	92	537	

【県 外】

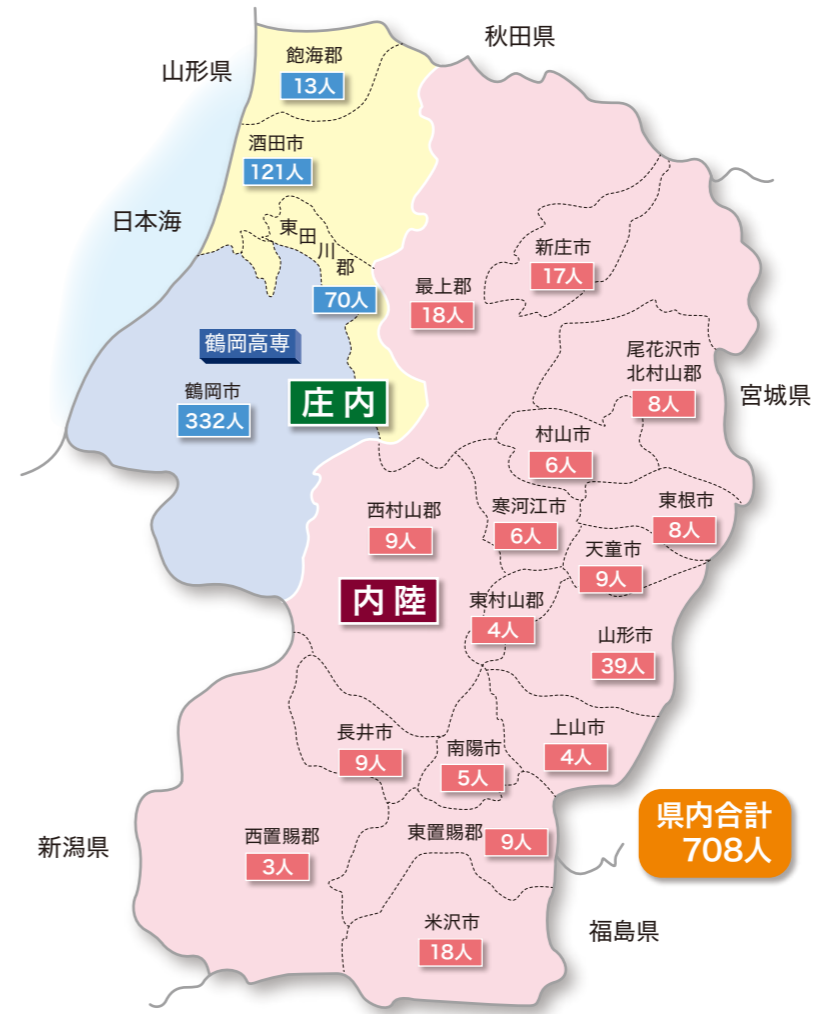
市町村名	学校名	学 生 数							
		1	2	3	4	5	計		
青森県	弘前市	常	盤	野	1			1	
	富	沢				2		2	
宮城県	仙台市	宮	教	大	附			1	1
	錦	ヶ	丘	1				1	
	みどり台							1	
富谷市	塩	竈	市	第	一			1	1
	富	谷						1	1
加美郡加美町	日	吉	台					1	1
	小	野	田					1	1
大崎市	三	本	木					1	1
	三	本	木					1	1

市町村名	学校名	学 生 数													
		1	2	3	4	5	計								
宮城県	利府町	利	府				1	1							
岩手県	盛岡市	仙	北	1				1	2						
	奥州市	胆	沢	1					1						
秋田県	秋田市	桜				1			1						
	由利本荘市	西	目	1					1						
	大仙市	大	曲	1					1						
	会津若松市	第	二	1					1						
福島県	猪苗代町	猪	苗	代	1				1						
	棚倉町	棚	倉	1					1						
	須賀川市	第	二	1					1						
	いわき市	四	倉	1					1						
新潟県	新潟大附属								1						
	横	越			1				1						
	黒	埼			1				1						
	白	新							1						
村上市	坂	井	輪	1					1						
	山	北							1						
三条市	第	二	1						1						
	第	五	1						1						
府中市	第	五			1				1						
世田谷区	弦	巻	1						1						
茨城県	北茨城市	中	郷	1					1						
栃木県	高根沢町	阿	久	津					1	1					
	前橋市	富	士	見					1	1					
群馬県	太田市	西							1	1					
	大	正				1				1					
神奈川県	横浜市	富	岡	東	1					1					
	海老名市	有	馬		1					1					
伊勢原市	伊	勢	原	1						1					
	本	太				1				1					
埼玉県	さいたま市	植	竹	1						1					
	久喜市	久	喜	1						1					
千葉県	千葉市	小	中	台					1	1					
	誉	田				1				1					
成田市	西				1					1					
	紫	錦	台			1				1					
石川県	金沢市	屋	代	1						1					
	千曲市	塩	尻	丘	1					1					
長野県	塩	尻	市	1						1					
	高	浜	市	南	1					1					
愛知県	高	浜	市	南	1					1					
三重県	四	日	市	西	朝	明				1	1				
	和歌山市	西	和							1	1				
福岡県	福	津	市	津	屋	崎	1				1				
	琉球大附属									1	1				
沖縄県	中	頭	西	原	市	宮	里	1			1				
	宮	里								1	1				
帰国子女						2					1	3			
県外小計		21	12	6	10	11	60					60			
外国人留学生	インド					1	1	2							
	ウガンダ				1									1	
	タイ				1	1	1	3						3	
	チュニジア							1	1						2
	マレーシア				1	1									2
外国人留学生計		0	0	3	3	3	9							9	
合 計	学 生 数														
	1	2	3	4	5	計	155	160	161	167	134	777			

令和8年5月1日現在

県内 Students from Yamagata Prefecture

令和8年5月1日現在



県外 Students from outside Yamagata prefecture

青森県	1人
宮城県	13人
秋田県	3人
岩手県	3人
福島県	5人
新潟県	7人
東京都	2人
茨城県	1人
栃木県	1人
群馬県	2人
埼玉県	3人
千葉県	3人
神奈川県	4人
石川県	1人
長野県	2人
愛知県	1人
三重県	1人
和歌山県	1人
福岡県	1人
沖縄県	2人
帰国子女	3人
計	60人

留学生 Overseas Students

インド	2人
ウガンダ	1人
タイ	3人
チュニジア	1人
マレーシア	2人
計	9人

※上記の学生数は、本科生のみである。

学校納付金 Tuition/School fees

授業料等

種 類	金 額
入 学 料	84,600円
授 業 料 前 期 分	117,300円
授 業 料 後 期 分	117,300円

その他

種 類	金 額
学 生 会 入 会 金	1,000円
学 生 会 費	7,000円
後 援 会 入 会 金	10,000円
後 援 会 費(本 科)	28,000円
後 援 会 費(専 攻 科)	18,000円

※学寮にかかる経費はP.42に掲載

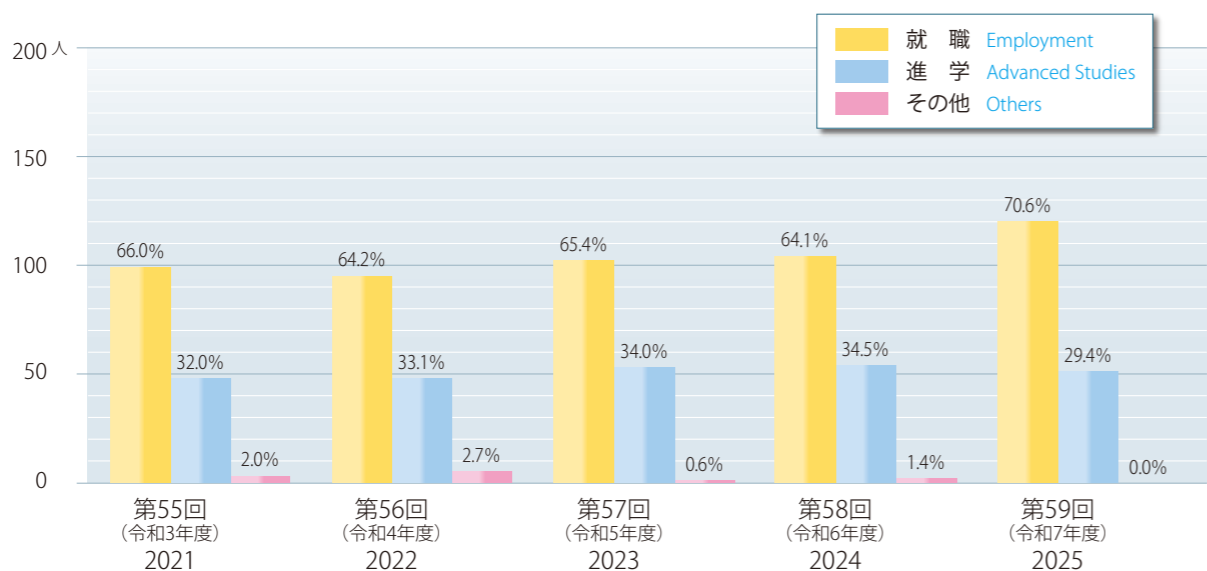
奨学生数 Scholarship Students

令和7年度実績

区 分	日本学生支援機構				オリエンタルモーター奨学財団(給付)	真知社育英会	その他
	貸 与 (第一種)	貸 与 (第二種)	給 付 (修学支援新制度)	給 付			
1 年	1	—	—	2	0	8	
2 年	5	—	—	3	0	0	
3 年	1	—	—	0	0	5	
4 年	3	0	36	0	0	5	
5 年	0	0	41	2	0	4	
専攻科	1	1	9	—	0	3	
合 計	11	1	86	7	0	25	

# 16. 卒業後の進路 Careers after Graduation

## 年度別就職・進学状況 Employment and Advanced Studies



## 就職 (第57回～第59回卒業生) Employment (2023~2025)

区分	機械コース*			電気・電子コース*			情報コース*			化学・生物コース*			計			専攻科		
	第57回 (令和5年度)	第58回 (令和6年度)	第59回 (令和7年度)	第57回 (令和5年度)	第58回 (令和6年度)	第59回 (令和7年度)	第57回 (令和5年度)	第58回 (令和6年度)	第59回 (令和7年度)	第57回 (令和5年度)	第58回 (令和6年度)	第59回 (令和7年度)	第57回 (令和5年度)	第58回 (令和6年度)	第59回 (令和7年度)	第20回 (令和5年度)	第21回 (令和6年度)	第22回 (令和7年度)
卒業生数	37	24	35	46	35	39	42	40	38	31	43	41	156	142	153	16	18	18
就職者数	28	17	28	31	21	31	26	27	21	17	26	28	102	91	108	12	13	12
求人倍率	12.7	17.2	9.3	11.3	15.0	8.7	11.6	10.6	11.9	12.8	7.9	6.7	12	12	9	65.8	56.0	53.4
規模別	500人以上の事業所			23	11	20	24	16	26	17	20	15	14	19	20	78	66	81
	499~100人の事業所			4	6	5	5	4	2	8	5	3	1	4	5	18	19	15
	100人未満の事業所			1	0	3	2	1	3	1	2	3	2	3	6	5	12	1
	官公庁			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	計			28	17	28	31	21	31	26	27	21	17	26	28	102	91	108
産業別	鉱業			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設業			3	0	3	2	2	2	2	0	1	0	1	7	3	7	0
	食品			1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	5	3	4	5
	繊維工業			2	0	0	0	0	2	0	0	0	2	3	2	2	5	2
	出版・印刷			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	化学工業			1	2	1	1	0	0	2	2	0	9	12	14	13	16	15
	石油製品			0	0	1	1	0	5	0	0	0	2	2	1	3	2	7
	鉄鋼業			0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	非鉄金属			0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
	金属製品			0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	一般機械			3	3	2	0	2	1	1	0	0	1	4	5	4	0	1
	電気機械			5	2	5	7	4	4	3	1	1	0	15	7	10	1	1
	輸送用機械			3	1	3	0	1	2	0	0	0	0	1	3	3	5	0
	精密機械			4	1	3	2	2	0	1	2	3	0	1	7	6	7	2
	その他			3	2	1	1	2	3	0	0	1	2	1	0	6	5	1
別	卸売・小売業			0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	3	1	0	0
	金融・保険業			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運輸通信業			0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0
	電気・ガス・水道業			0	0	1	3	2	6	0	0	0	0	1	0	3	3	7
	サービス業			3	4	4	13	5	6	17	18	14	2	1	1	35	28	25
	官公庁			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	計			28	17	28	31	21	31	26	27	21	17	26	28	102	91	108

※一部、従業員数を非公開としている企業があり、就職者数、規模別、産業別の計が一致しない箇所がある。

## 最近3か年の就職先 List of Employers (2023~2025)

### 建設業

エクシオグループ  
三和メイテック  
水成友興業  
東北発電工業  
日本オーチス・エレベーター  
日本電設工業  
ネクスコ・エンジニアリング東北  
東日本高速道路  
三菱電機プラントエンジニアリング  
メタウォーター  
レイズネクスト

### 食料品

キリンビール  
グリコマニファクチャリングジャパン  
サントリーグループ  
サントリーホールディングス  
ドリームズファーム  
森永乳業  
森永製菓  
ヤクルト本社  
福島工場  
理研ビタミン

### 繊維工業

旭化成  
東レ

### 化学工業

天野エンサイム  
NBCメッシュテック  
大阪有機化学工業  
クレハ  
三洋化成工業  
JNC石油化学  
住友精化  
第一三共  
第一三共ケミカルファーマ  
第一三共プロファーマ  
大日精化工業  
中外製薬工業  
DIC  
東北東ソー化学  
東和薬品  
日鉄ケミカル&マテリアル  
ニプロファーマ  
日本化学産業  
日本触媒  
日本マイクロバイオファーマ  
長谷川香料  
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ  
ペーリンガー・インゲルハイム製薬  
丸善石油化学  
三井化学  
三井化学分析センター  
ミヨシ油脂

### 石油製品・石炭製品

レゾナック  
出光興産  
ENEOS  
東亜石油

### 非鉄金属

LIXIL

### 鉄鋼業

東京製鐵

### 金属

ベスタ  
山形メタル

### 一般機械器具

SMC  
京都製作所  
クボタ  
斎藤農機製作所  
佐藤鉄工所  
酒田事業所  
三協オイルレス工業  
シンクロン  
牧野技術サービス  
牧野フライス製作所  
三木プーリ  
山形カシオ  
山形航空電子

### 電気機器機械器具

アズビル  
ウチヤ・サーモスタット  
GEヘルスケア・ジャパン  
JVCケンウッド山形  
スクリブル・デザイン  
SCREEN SPEサービス  
スタンレー鶴岡製作所  
ソーセミコンダクタマニファクチャリング  
TDKエレクトロニクスファクトリーズ  
デンソーFA山形  
東北村田製作所  
鶴岡高砂製作所  
浜松ホトニクス  
日立国際電気  
ファナック  
双葉電子工業  
三菱電機  
明電エンジニアリング  
安川電機  
ルネサスエレクトロニクス

### 輸送用機械器具

ANAベースメンテナンステクニクス  
片桐製作所

### KYB

JALエンジニアリング  
トヨタ自動車東日本  
マレエンジコンポーネンツジャパン

### 精密機械機器

オリエンタルモーター  
コニカミノルタジャパン  
テクノ・モリオカ  
テルモ  
東北エプソン  
ニコン  
日立ハイテク  
福島キャノン  
ミットヨ

### その他

AGC  
OKIサーキットテクノロジー  
オキサイド  
国立印刷局  
D.S.R.  
テクノプロ  
テクノプロデザイン社  
テコム  
日東電工  
NITTO KUKI  
日本ゼオン

### 卸売・小売

アイリスオーヤマ

### 運輸・通信

NTTロジスコ  
東急電鉄  
東日本旅客鉄道

### 電気・ガス・水道

関西電力  
東京ガス  
東京ガスネットワーク  
東京水道  
東京電力ホールディングス  
東北電力

### 公務

酒田市役所

### サービス業

アイ・エス・ピー  
アイ・システム  
アイズ・ソウトウエア  
アクセンチュア  
AGEST  
アビリカ  
ALSOK山形  
イシダ  
ヴィッツ  
エスユーエス

### NRINETCOM

NECプラントエンジニアリング  
NTTアノードエナジー  
エヌ・ティ・ティエムイー  
NTTコミュニケーションズグループ  
NTT東日本グループ会社  
オムロンフィールドエンジニアリング  
キャノンメディカルシステムズ  
クレスコ・ネクシオ  
グローバルトラストネットワークス  
材料科学技術振興財団  
サンリツオートメイション  
ジェイ・クリエイション  
CTCシステムマネジメント  
CTCテクノロジー  
SOLIZE  
第一工業  
タマディック  
中央エンジニアリング  
ティ・アイ・ディ  
D.S.R.  
テクノプロ  
テクノプロデザイン社  
テコム  
東京エレクトロングループ  
トーテックアメニティ  
東北環境開発  
東北電気保安協会  
日本空港テクノ  
ネットブレインズ  
ネットワークシステムズ  
パーソルクロステクノロジー  
ハイマックス  
パナソニックEWエンジニアリング  
半導体エネルギー研究所  
日立パワーソリューションズ  
ヒロエンジニアリング  
FLEXER  
フェイパーエンジニアリング  
フェルメクテス  
富士通ネットワークソリューションズ  
富士電機  
富士フィルム  
富士フィルムメディカル  
丸紅I-DIGIOホールディングス  
三菱電機エンジニアリング  
三菱電機ビルソリューションズ  
メンバーズ  
横河ソリューションサービス  
YCC情報システム  
ラック  
リンク情報システム  
ワコム

※太ゴシックは、県内就職した企業名です。

進学（編入学） Advanced Studies (University, Vocational School)

本科卒業後さらに学問追求を希望する場合は、大学の3年に編入学することができます。60以上の大学が高専からの編入学を受け入れており、複数の国立大学の編入学試験を受ける機会があるだけでなく、在学中の成績により推薦入試を受験することができます。



就職進学資料室

進学先一覧 List of Advanced Studies (University, Vocational School)

大学名	第57回卒業生 (令和5年度)	第58回卒業生 (令和6年度)	第59回卒業生 (令和7年度)	左記以前の進学先
長岡技術科学大学	17	16	4	北海道大学
豊橋技術科学大学	1	3	2	室蘭工業大学
北見工業大学	1	1		福島大学
弘前大学		1		宇都宮大学
秋田大学	1			茨城大学
岩手大学	1		1	埼玉大学
山形大学		2	1	東京工業大学
東北大学	1			東京大学
群馬大学	1	1	2	お茶の水女子大学
筑波大学		1	1	福井大学
千葉大学	1	2	1	金沢大学
東京農工大学	2	1		奈良女子大学
電気通信大学	1		1	神戸大学
山梨大学	1			京都工芸繊維大学
新潟大学	4	1	2	愛媛大学
信州大学	2			山口大学
名古屋大学		1		宮崎大学
島根大学		1		九州工業大学
香川大学			1	琉球大学
鶴岡工業高等専門学校専攻科	18	17	28	公立千歳科学技術大学
近畿大学			1	函館工業高等専門学校専攻科
東北公益文科大学	1			釧路工業高等専門学校専攻科
名古屋ビジュアルアーツアカデミー専門学校		1		都立産業技術高等専門学校専攻科
計	53	49	45	他

進学（大学院） Advanced Studies (Graduate School)

専攻科で所定の単位を修得し、大学改革支援・学位授与機構の審査に合格すると、学士（工学）の学位が取得でき、大学院の受験資格を得ることができます。

大学院進学先一覧 List of Advanced Studies (Graduate School)

大学院名	第20回修了生 (令和5年度)	第21回修了生 (令和6年度)	第22回修了生 (令和7年度)	左記以前の進学先
北海道大学大学院	1		1	室蘭工業大学大学院
東北大学大学院			2	山形大学大学院
長岡技術科学大学大学院			1	会津大学大学院
新潟大学大学院		1		東北大学大学院
埼玉大学大学院		1	1	信州大学大学院
筑波大学大学院		1	1	京都大学大学院
東京科学大学大学院	1	1		首都大学東京大学院
電気通信大学大学院		1		奈良先端科学技術大学院大学
豊橋技術科学大学	1			九州工業大学大学院
北陸先端科学技術大学院大学	1			慶応義塾大学大学院
計	4	5	6	他

卒業後の資格 Certification after Graduation

資格	取得受験資格等(関係法令)
第二種電気主任技術者	本校創造工学科電気・電子コースにおいて、通商産業省令第52号第7条第1項各号の科目を修めて卒業し、その後5年以上電圧1万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用に従事した者（電気事業法第44条、昭和40年通商産業省令第52号第1条）
第三種電気主任技術者	本校創造工学科電気・電子コースにおいて、通商産業省令第52号第7条第1項各号の科目を修めて卒業し、その後2年以上電圧500ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用に従事した者（同上）
第一種ボイラー・タービン主任技術者	創造工学科機械コースを卒業し、発電用のボイラー又は蒸気タービンの工事、維持又は運用の実務経験を8年以上（内、圧力5,880キロパスカル以上の発電用のボイラー又は蒸気タービンの工事、維持または運用に関する実務経験が4年以上）有する者（同上）
第二種ボイラー・タービン主任技術者	創造工学科機械コースを卒業し、発電用のボイラー、蒸気タービン、ガスタービン又は燃料電池設備の工事、維持又は運用に関する実務経験を4年以上有する者（同上）
甲種危険物取扱者	化学に関する学科もしくは課程を修めて卒業した者（消防法第13条の3第4項）（受験資格）
火薬類製造保安責任者	本校で工業化学に関する学科を専修して卒業した者（火薬類取締法施行規則第77条）（受験科目一部免除）
三級自動車整備士	高等専門学校において自動車に関する学科を修めて卒業した者（自動車整備士技能検定規則第19条）（受験資格）
毒物・劇物取扱責任者	創造工学科化学・生物コースを卒業した者は、製造業、販売業等の施設から届出をすれば、毒劇物取扱責任者となれる。（毒物及び劇物取締法第8条、毒物及び劇物取締法施行規則第6条）
その他の資格	●大学編入学試験を受ける資格（学校教育法第122条） ●電気工作物検査官の資格（電気事業法施行令第45条）創造工学科機械コース、電気・電子コースを卒業した者

## 17. 学 寮 Dormitory

本校の学寮は「鶴鳴寮」と呼ばれ、約380名が入寮しています。女子寮は、地域からの強い要望により平成15年度に開設され、現在82名が入寮しています。

令和6年度には混住型国際寮（日本人寮生と外国人留学生の混住寮）が竣工しました。

本校学寮では、模範的な寮生「指導寮生」が後輩の生活や勉学の指導にあたっているほか、学寮スタッフが寮生の生活をサポートしています。

また、寮生の自治会として「寮生会」が組織されており、各種行事の立案及び運営を行って、年間を通して、寮祭、体育大会等の行事が企画され楽しく実施されています。学寮では、いつも互助・互譲の精神をもちながら、明るい活気ある寮になるように努めています。



鶴峰寮管理棟玄関

### 入寮状況 Number of Boarders

【本科】 令和8年5月1日現在

区 分	創造工学科	コ ー ス 別 内 訳			
		機 械 コ ー ス	電 気・電 子 コ ー ス	情 報 コ ー ス	化 学・生 物 コ ー ス
第1学年	77 (15)				
第2学年	76 (13)	22 (4)	19 (4)	17 (2)	18 (3)
第3学年	90 (22) ③	18 (2) ①	21 (3)	30 (7) ①	21 (10) ①
第4学年	81 (21) ③	15 (4) ①	27 (4)	13 (0) ①	26 (13) ①
第5学年	51 (11) ③	7 (1)	16 (1) ①	10 (4) ②	18 (5)
計	375 (82) ⑨	62 (11) ②	83 (12) ①	70 (13) ④	83 (31) ②

### 【専攻科】

区 分	専 攻 科	コ ー ス 別 内 訳		
		機 械・制 御 コ ー ス	電 気電 子・情 報 コ ー ス	応 用 化 学 コ ー ス
第1学年	3 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
第2学年	0	0	0	0
計	3 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

( )内は女子学生数  
○内は留学生数(内数)

### 1か月当り寮生負担経費 Monthly Dormitory Expenses

寄 宿 料	個 室	800円 月額	そ の 他	冷暖房費	4,500円 月額
	複数人居室	700円 月額		寮生会費 (年額)	2,400円 (4月納付)
寮 費	13,000円 月額		入寮費 3,000円、寮生会入会金 300円 (いずれも入寮時のみ)		
給 食 費	1,579円 日額				



居室(3人部屋)



寮生体育大会

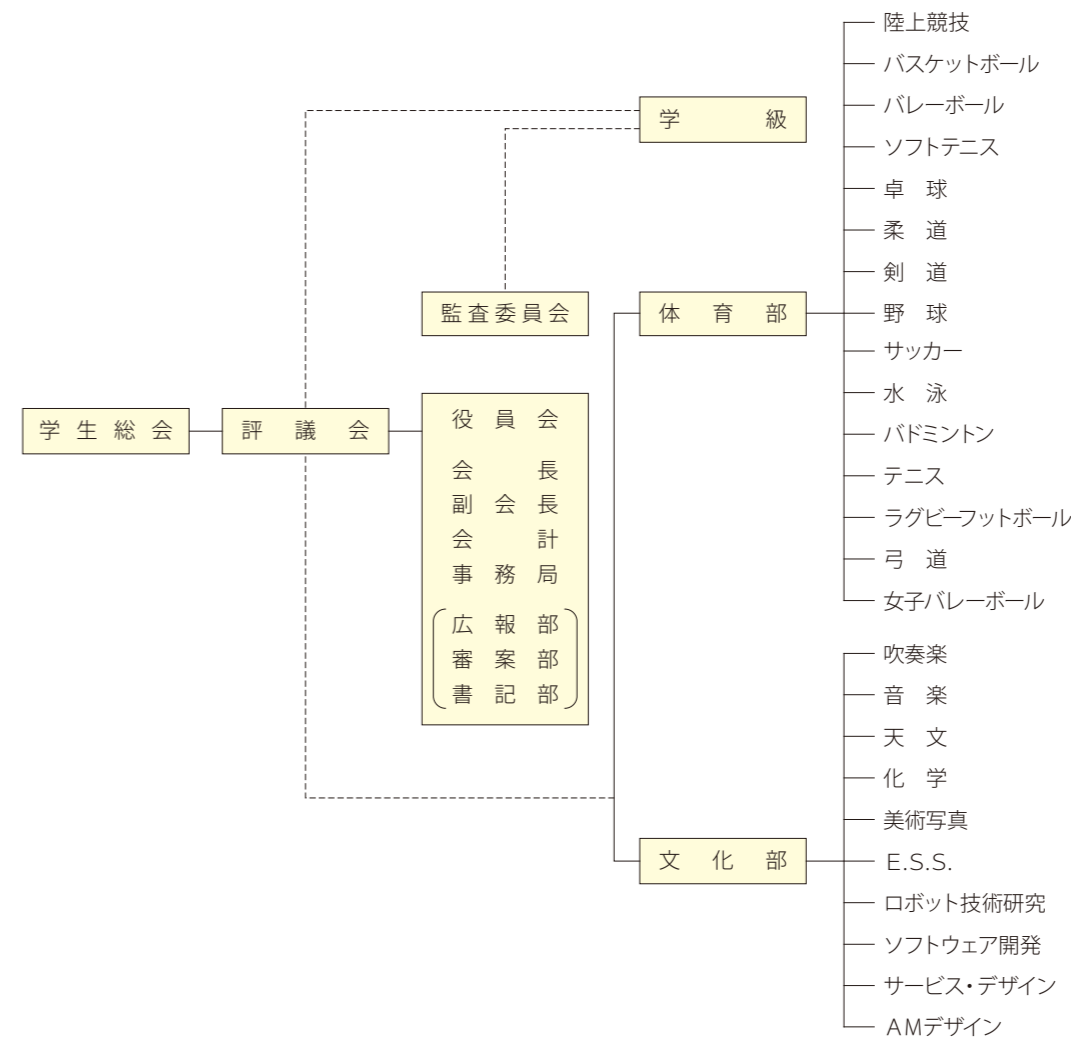


学寮食堂

## 18. 学生会 Student Council

本校には学生の自発的な活動を通じてその人間形成を助長し、高専教育の目的達成に資することを目的として「学生会」が組織されており、文化祭や各種行事などの企画を実施しています。また、25の体育部と文化部が所属しており、高等専門学校体育大会や各種コンテスト等に参加しているほか、1年生から3年生は、高等学校総合体育大会などの高校大会にも出場をしています。

### 組織図 Organization Chart



全国高専体育大会(バレーボール)



東北地区高専体育大会(野球部)



吹奏楽部のミニサマーコンサート

